目次

メニュー

索引

SONY

操作ガイド

NW-S603 / S605 / S703F / S705F / S706F

2-887-743-**04** (1)

マニュアルについて

本機には、「クイックスタートガイド」と「操作ガイド」の2つのマニュアルが付属しています。また、付属のSonicStageソフトウェアをインストールすれば、SonicStageのヘルプを参照できます。

– 別紙の「クイックスタートガイド」は、音楽を聞くまでの準備と基本的な操作（曲の取り込みから、転送、再生まで）を説明しています。
– この「操作ガイド」は、本機の基本操作に加え、応用操作や困ったときの対処法を説明しています。
– SonicStageのヘルプは、SonicStageの操作について詳しく説明しています（☞3ページ）。

操作ガイドの見かた

操作ガイドのボタンを使うには

右上にあるボタンから、希望のボタンをクリックすれば、「目次」や「ホームメニュー一覧」、「索引」へ移動できます。

ヒント
- 「目次」や「ホームメニュー一覧」、「索引」で、各項目またはページ番号をクリックすれば、該当ページへ移動できます。
- 各ページにある参照ページ表示をクリックすれば、該当ページへ移動できます。
  例：（☞3ページ）
- Adobe Readerの「編集」から「検索」を選択し、表示された検索画面にキーワードを入力すれば、キーワードから参照ページを検索できます。
- ページ移動後は、Adobe Readerの画面下にある、 や ボタンをクリックすれば、移動する前のページや次のページへ移動できます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ページの表示方法を変えるには

Adobe Readerの画面下にあるボタンを使えば、見やすい表示に変えられます。

単一ページ
1ページずつ表示します。
ページをスクロールすると、1ページずつ表示が切り換わります。

連続ページ
ページを続けて表示します。
ページをスクロールすると、前後のページが続いて表示されます。

連続見開きページ
2ページずつ見開き表示します。
ページをスクロールすると、前後のページが続いて表示されます。

単一見開きページ
2ページずつ見開き表示します。
ページをスクロールすると、2ページずつ表示が切り換わります。

SonicStageのヘルプについて

音楽をパソコンへ取り込む方法や本機へ転送する方法など、SonicStageを使う操作について詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください。

1. **SonicStageを起動した状態で、「ヘルプ」から「SonicStageのヘルプ」をクリックする。**
   ヘルプが表示されます。

ご注意

- ヘルプでは、本機を「ATRAC Audio Device」として説明しています。

目次
メニュー
索引

目次

次のページにつづく ⇩

FM放送を聞く（NW-S703F/S705F/S706Fのみ）

録音する

役に立つヒント

困ったときは

その他

目次
メニュー
索引

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。
⚠警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災　破裂　感電

行為を禁止する記号

禁止　接触禁止　分解禁止　ぬれ手禁止

⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

禁止

はじめからボリュームを上げすぎない。

突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。
ボリュームは徐々に上げましょう。特にヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

禁止

本体を布団などでおおった状態で使わない。

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

肌に合わないと感じたときは使わない。

肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはお客様ご相談センター、お買い上げ店にご相談ください。

禁止

使用中に気分が悪くなった場合は使用を中止する。

本機を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに本機の使用を中止してください。

目次
メニュー
索引

ホームメニュー一覧

本機のDISPLAY/HOMEボタンを押したままにするとホーム画面が表示されます。ホーム画面は、本機の各機能の入り口になり、曲の検索や設定変更など以下の機能を実行できます。

ホーム画面 *1

*1 選択できるアイコンの種類は最大10個あり、現在利用している機能によって変化します。いちどに表示されるアイコンは中央の5つです。シャトルスイッチを回して選択し、►■ボタンを押して決定します。

*2 本機で録音したデータがある場合に表示されます。

*3 本機での録音に対応した別売りのアクセサリーと、本機を接続している場合に表示されます。

*4 NW-S703F/S705F/S706Fのみ

目次
メニュー
索引

付属品を確かめる

箱から出したら、付属品がそろっているか確認してください。

□ ヘッドホン（1）
□ ヘッドホン延長コード（1）
□ イヤーピース（Sサイズ、Lサイズ）（1）
□ USBケーブル（1）
□ アタッチメント（1）
本機を別売りのクレードル（BCR-NWU3）などに取り付けるときに使います。
□ CD-ROM*（1）
－ SonicStageソフトウェア
－ 操作ガイド（PDF）
□ クイックスタートガイド（1）
□ 保証書（1）
□ ソニーご相談窓口のご案内（1）
□ カスタマー登録のお願い（1）

* 音楽CDプレーヤーでは再生しないでください。

イヤーピースの正しい装着方法

イヤーピースが耳にフィットしていないと、低音が聞こえなかったり、ノイズキャンセリング機能（☞29ページ）（NW-S703F/S705F/S706Fのみ）の効果が得られなかったりします。より良い音質を楽しんでいただくためにはイヤーピースをおさまりの良い位置に調整したり、耳の奥まで押し込むなど、ぴったりと耳に装着させるようにしてください。お買い上げ時には、Mサイズが装着されています。サイズが耳に合わないと感じたときは、付属のLサイズやSサイズに交換してください。

シリアルナンバーについて

カスタマー登録の際に、本機のシリアルナンバーの入力が必要となります。シリアルナンバーは、本体裏面に記載されています。
または、本機でシリアルナンバーを確認することもできます。詳しくは☞59ページをご覧ください。

目次
メニュー
索引

各部の名前

1 WM-PORT（ダブリューエムポート）

付属のUSBケーブルや、本機での録音に対応した別売りのアクセサリーなどWM-PORT対応アクセサリーや周辺機器を接続できます。

2 表示部

☞12ページをご覧ください。

3 ►■*（再生／停止）ボタン

表示窓に►が表示され、再生が始まります。もう一度押すと■が表示され、再生が停止します。
表示窓にメニュー項目が表示されているときは、その項目を決定します。

ヒント

- 本機には電源ボタンがありません。►■ボタンを押して再生またはFM放送の受信（NW-S703F/S705F/S706Fのみ）を停止すると、数秒後に自動的に画面表示が消えて再生待機状態になります。

  再生待機状態では、電池の消耗はほとんどありません。

4 VOL（ボリューム）＋*/－ボタン

音量を調節します。

* 凸点（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

5 DISPLAY（ディスプレイ）/HOME（ホーム）ボタン

曲の再生中/停止中に表示画面を切り換えます（☞45ページ）。
FMチューナー（NW-S703F/S705F/S706Fのみ）使用中、インテリジェントシャッフル中に押すと、一定時間現在時刻を表示します。
押し続けると、ホーム画面を表示します。
メニューを表示しているときは、再度押すと1階層上のメニューに戻り、押し続けるとホーム画面に戻ります。

6 シャトルスイッチ

シャトルスイッチを回してメニュー項目を選んだり、曲の頭出しや早送り/早戻しができます（☞10ページ）。
また、シャトルスイッチを引いたり押したりして、フォルダー操作モード/通常モードの位置にすることができます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

シャトルスイッチの操作について

通常モード	
こんなときは	**シャトルスイッチ操作**
再生中	
次の曲の頭出し	▶▶I へ短く回す。
再生中の曲の頭出し	I◀◀ へ短く回す。
再生中の曲の早送り	▶▶I を回して止めたい場所で手を離す。
再生中の曲の早戻し	I◀◀ を回して止めたい場所で手を離す。
停止中	
次の曲、さらに次の曲を選曲	▶▶I へ回したままにする。
停止中の曲、さらに前の曲を選曲	I◀◀ へ回したままにする。

フォルダー操作モード	
こんなときは	**シャトルスイッチ操作**
再生中 / 停止中	
曲の並び順（☞43ページ）で設定したグループで、次のグループの最初の曲の頭出し	▶▶I へ短く回す。
曲の並び順（☞43ページ）で設定したグループで、現在のグループの最初の曲の頭出し	I◀◀ へ短く回す。
曲の並び順（☞43ページ）で設定したグループで次のグループ、さらに次のグループの最初の曲を選曲	▶▶I へ回したままにする。
曲の並び順（☞43ページ）で設定したグループで現在のグループ、さらに前のグループの最初の曲を選曲	I◀◀ へ回したままにする。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

7 HOLD(ホールド)スイッチ

カバンに入れて使うときなど、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぎます。
HOLDスイッチをHOLDの位置にスライドすると、操作ボタンが働かなくなります。ホールド中にボタンを押したり、シャトルスイッチを回すと「HOLD」が表示されます。HOLDスイッチを逆の位置にスライドすると、ホールドが解除されます。

8 ストラップ取り付け口

ストラップ(別売り)を取り付けます。

9 RESET(リセット)ボタン

クリップなどの細い棒でRESETボタンを押すことで、本機をリセットします。詳しくは、☞95ページをご覧ください。

10 PLAY MODE(プレイモード)/SOUND(サウンド)ボタン

再生方法を切り換えます(☞28ページ)。
押し続けると、音質設定が変わります。

11 ヘッドホンジャック

ヘッドホンを接続します。
「カチッ」と音がするまで差し込みます。
ヘッドホンが正しく接続されていないと、再生音が正常に聞こえません。

NW-S703F/S705F/S706Fをお使いの場合

ヘッドホンは端子の形状を目安に、ヘッドホン延長コードは方向合わせのマーク(⊂⊃)と端子の形状を目安に奥までしっかりと接続してください。

ヘッドホン延長コードを使うとき

ノイズキャンセリング機能について(NW-S703F/S705F/S706Fのみ)

ノイズキャンセリング機能は付属のヘッドホンを使用したときのみ有効です。付属のヘッドホンを使用しても、ノイズキャンセリング機能のない機種(NW-S603/S605)ではノイズキャンセリング効果は得られません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示部

ジャケット写真を表示に設定している場合（お買い上げ時の設定）

ジャケット写真を非表示に設定している場合

12 ジャケット写真表示

SonicStageでアルバムのジャケット写真を登録して曲を転送すると、表示画面にアルバムのジャケット写真が表示されます。ジャケット写真を非表示に設定することもできます（☞48ページ）。

13 アイコン表示

通常モードの場合、1行目は♫が表示され、2行目は曲の並び順（☞43ページ）の設定によって◎または👤が表示されます。
フォルダー操作モードの場合、1行目は曲の並び順（☞43ページ）で設定したグループのアイコンが表示され、2行目は◎または👤が表示されます。
また、プレイリストを再生（☞14ページ）している場合、フォルダー操作モードにすると1行目に選択したプレイリスト（▶：SonicStageで作成したプレイリスト、100：よく聞く100曲、新：新しく転送したアルバム）が表示されます。

14 文字情報／グラフィック表示

アルバム名、アーティスト名、曲名などの表示や、時計表示、エラー表示、メニュー画面などが表示されます。
画面の表示内容は、DISPLAY/HOMEボタンで変更できます（☞45ページ）。また、一定時間操作がないときに、省電力画面に切り換わるように設定することもできます（☞66ページ）。

15 再生状態表示

現在の再生状態（▶：再生中、■：停止中、◀◀（▶▶）：早戻し（早送り）、|◀◀（▶▶|）：現在の曲（次の曲）の頭出し）が表示されます。

16 経過時間表示

経過時間が表示されます。

17 再生方法（プレイモード）表示

現在の再生方法（プレイモード）のアイコンが表示されます（☞28ページ）。
プレイモードが「Normal」に設定されている場合は、何も表示されません。

18 音質設定表示

現在の音質設定のアイコンが表示されます（☞31ページ）。音質設定が設定されていない場合は、何も表示されません。

19 ノイズキャンセリング機能表示（NW-S703F/S705F/S706Fのみ）

ノイズキャンセリング機能がONに設定されているときに NC が表示されます（☞29ページ）。

20 電池残量表示

電池残量が表示されます。

ヒント

- FMチューナー（NW-S703F/S705F/S706Fのみ）の表示については「FM放送を楽しむ」（☞67ページ）をご覧ください。

目次
メニュー
索引

曲を再生する（All Songs）

本機に転送した曲を再生します。

1 ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。

2 シャトルスイッチを回して♫（All Songs）を選び、►■ボタンを押して決定する。

前回再生した曲から再生が始まります。前回再生した曲がない場合は、本機に転送したすべての曲の、はじめの曲から再生が始まります。
曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が停止します。

曲の頭出しをしたいときは

曲の再生中／停止中にシャトルスイッチをI◀◀（▶▶I）へ短く回すと、再生中の曲（次の曲）を頭出しします。
曲の再生中／停止中にシャトルスイッチを引いて、I◀◀（▶▶I）へ短く回すと曲の並び順（☞43ページ）で設定したグループで、現在のグループ（次のグループ）の最初の曲を頭出しします。

ヒント

- PLAY MODE/SOUNDボタンを押して再生方法を変更すると（☞28ページ）、曲を順不同に再生したり、繰り返し再生したりできます。
- 曲の並び順は、Sortメニュー（☞43ページ）で設定されている順番になります。お買い上げ時の設定では、「アルバム名順」に曲が並びます。

目次
メニュー
索引

プレイリストを再生する（Playlist Select）

「SonicStageで作成したプレイリスト」、「新しく転送したアルバム」、「よく聞く100曲」のいずれかのモードで曲を再生します。

ご注意

- (Playlist Select）を選んだときは、ホーム画面に (Search）と (Jacket Search）は、表示されません。

SonicStageで作成したプレイリストを再生する（Playlists）

SonicStageで作成したプレイリストを再生します。SonicStageでプレイリストの名前を変更すると、変更した名前で本機に表示されます。詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください。

1. **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **シャトルスイッチを回して (Playlist Select）を選び、▶■ボタンを押して決定する。**
   プレイリスト選択メニューが表示されます。

3. **シャトルスイッチを回して「Playlists」を選び、▶■ボタンを押して決定する。**
   前回再生した曲から再生が始まります。前回再生した曲がない場合は、SonicStageで作成したプレイリストの、はじめの曲から再生が始まります。曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が停止します。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

曲の頭出しをしたいときは

曲の再生中／停止中にシャトルスイッチを⏮（⏭）へ短く回すと、再生中の曲（次の曲）を頭出しします。
曲の再生中／停止中にシャトルスイッチを引いて、⏮（⏭）へ短く回すと再生中のプレイリスト（次のプレイリスト）の最初の曲を頭出しします。

ヒント

- PLAY MODE/SOUNDボタンを押して再生方法を変更すると（☞28ページ）、曲を順不同に再生したり、繰り返し再生したりできます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

よく聞く100曲を再生する（Favorite 100）

SonicStageが自動で作成するプレイリストを再生します。SonicStage接続時に、再生回数の多い100曲が更新され、再生回数の多い順に表示されます。

1. **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **シャトルスイッチを回して（Playlist Select）を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   プレイリスト選択メニューが表示されます。

3. **シャトルスイッチを回して「Favorite 100」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   前回再生した曲から再生が始まります。前回再生した曲がない場合は、はじめの曲から再生が始まります。曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が停止します。

ヒント

- よく聞く100曲は、SonicStage接続時に、それまでの再生回数をもとに更新されます。

次のページにつづく ⇩

新しく転送したアルバムを再生する（Recent Transfers）

最も新しく転送されたアルバムを再生します。

1. **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **シャトルスイッチを回して（Playlist Select）を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   プレイリスト選択メニューが表示されます。

3. **シャトルスイッチを回して「Recent Transfers」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   前回再生した曲から再生が始まります。前回再生した曲がない場合は、はじめの曲から再生が始まります。曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が停止します。

曲の頭出しをしたいときは

曲の再生中／停止中にシャトルスイッチを⏮（⏭）へ短く回すと、再生中の曲（次の曲）を頭出しします。
曲の再生中／停止中にシャトルスイッチを引いて、⏮（⏭）へ短く回すと曲の並び順（☞43ページ）で設定したグループで、現在のグループ（次のグループ）の最初の曲を頭出しします。

目次
メニュー
索引

シャッフル再生する（Intelligent Shuffle）

4通りのシャッフルモードから選び、曲を順不同に繰り返し再生（シャッフル再生）できます（インテリジェントシャッフル）。

ご注意

- インテリジェントシャッフル中は、再生方法（☞28ページ）が自動的にシャッフルになります。
- インテリジェントシャッフル中は、DISPLAY/HOMEボタンを押すと一定時間現在時刻が表示されます。

よく聞く100曲をシャッフル再生する（My Favorite Shuffle）

再生回数の多い100曲を順不同で繰り返し再生します。

1. **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**
2. **シャトルスイッチを回して（Intelligent Shuffle）を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   インテリジェントシャッフルモード選択メニューが表示されます。
3. **シャトルスイッチを回して「My Favorite Shuffle」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   よく聞く100曲がシャッフルされ、繰り返し再生が始まります。

ヒント

- シャトルスイッチを引いて回すと、再生回数の多い100曲が再び最初からシャッフル再生されます。
- よく聞く100曲は、SonicStage接続時に、それまでの再生回数をもとに更新されます。
- 本機に転送された曲数が100曲未満のときは、転送された曲数でシャッフル再生されます。

次のページにつづく⇩

ランダムに選ばれたアーティストと近いジャンルの曲をシャッフル再生する（Artist Link Shuffle）

ランダムに選ばれたアーティストと近いジャンルの曲を検索し（アーティストリンク）、検索した曲を順不同で繰り返し再生します。

1. **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**
2. **シャトルスイッチを回して（Intelligent Shuffle）を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   インテリジェントシャッフルモード選択メニューが表示されます。
3. **シャトルスイッチを回して「Artist Link Shuffle」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   アーティストがランダムに選ばれて、そのアーティストと近いジャンルの曲がシャッフルされ、繰り返し再生が始まります。

ヒント

- シャトルスイッチを引いて回すと、アーティストがランダムに選び直され、そのアーティストと近いジャンルの曲が再び最初からシャッフル再生されます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

同じ発売年の曲をシャッフル再生する（Time Machine Shuffle）

発売年がランダムに選ばれ、その年に発売されたすべての曲を順不同で繰り返し再生します。

1 ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。

2 シャトルスイッチを回して（Intelligent Shuffle）を選び、►■ボタンを押して決定する。

インテリジェントシャッフルモード選択メニューが表示されます。

3 シャトルスイッチを回して「Time Machine Shuffle」を選び、►■ボタンを押して決定する。

発売年がランダムに選ばれて、その年にリリースされた曲がシャッフルされ、繰り返し再生が始まります。

ヒント

- シャトルスイッチを引いて回すと、発売年がランダムに選び直され、その年にリリースされた曲が再び最初からシャッフル再生されます。

次のページにつづく ⇩

時間を設定してシャッフル再生する（Sports Shuffle）

本機に転送したすべての曲からランダムに選ばれた曲を、設定した時間内で順不同に再生します。設定できる時間は、1分〜99分間です。

1. **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **シャトルスイッチを回して（Intelligent Shuffle）を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   インテリジェントシャッフルモード選択メニューが表示されます。

3. **シャトルスイッチを回して「Sports Shuffle」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   再生時間設定画面が表示されます。

4. **シャトルスイッチを回して再生時間を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   選んだ再生時間が表示されます。そして、本機に転送したすべての曲の中から曲がランダムに選ばれて、再生が始まります。
   再生中は、画面に再生経過が表示されます。

ヒント

- シャトルスイッチを引いて回すと、本機に転送したすべての曲の中から曲がランダムに選び直され、最初からシャッフル再生されます。

目次
メニュー
索引

聞きたい曲を探す（Search）

「曲名」、「アーティスト名」、「アルバム名」などから聞きたい曲を探せます。

曲名から探す（Song）

1. ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。
2. シャトルスイッチを回して🔍（Search）を選び、►■ボタンを押して決定する。
3. シャトルスイッチを回して「Song>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
   曲一覧が表示されます。
4. シャトルスイッチを回して再生を開始したい曲を選び、►■ボタンを押して決定する。
   選んだ曲から再生が始まります。曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が停止します。

ヒント

- 🔍（Search）を実行しても、再生方法（☞28ページ）は変更されません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

アーティストから探す（Artist）

❶ ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。

❷ シャトルスイッチを回して 🔍（Search）を選び、►■ボタンを押して決定する。

❸ シャトルスイッチを回して「Artist>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

アーティスト一覧が表示されます。

❹ シャトルスイッチを回して聞きたいアーティストを選び、►■ボタンを押して決定する。

選んだアーティストのアルバム一覧が表示されます。

❺ シャトルスイッチを回して聞きたいアルバムを選び、►■ボタンを押して決定する。

選んだアーティストのアルバムの曲一覧が表示されます。

❻ シャトルスイッチを回して再生を開始したい曲を選び、►■ボタンを押して決定する。

選んだ曲から再生が始まります。曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が停止します。

ヒント

- 🔍（Search）を実行しても、再生方法（☞28ページ）は変更されません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

アルバムから探す（Album）

1 **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**

2 **シャトルスイッチを回して🔍（Search）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

3 **シャトルスイッチを回して「Album>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
アルバム一覧が表示されます。

4 **シャトルスイッチを回して聞きたいアルバムを選び、►■ボタンを押して決定する。**
選んだアルバムの曲一覧が表示されます。

5 **シャトルスイッチを回して再生を開始したい曲を選び、►■ボタンを押して決定する。**
選んだ曲から再生が始まります。曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が停止します。

ヒント

- 🔍（Search）を実行しても、再生方法（☞28ページ）は変更されません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ジャンルから探す（Genre）

1. **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **シャトルスイッチを回して（Search）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

3. **シャトルスイッチを回して「Genre>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   ジャンルの一覧が表示されます。

4. **シャトルスイッチを回して聞きたいジャンルを選び、►■ボタンを押して決定する。**
   選んだジャンルのアーティスト一覧が表示されます。

5. **シャトルスイッチを回して聞きたいアーティストを選び、►■ボタンを押して決定する。**
   選んだジャンルのアーティストのアルバム一覧が表示されます。

6. **シャトルスイッチを回して聞きたいアルバムを選び、►■ボタンを押して決定する。**
   選んだジャンルのアーティストのアルバムの曲一覧が表示されます。

7. **シャトルスイッチを回して、再生を開始したい曲を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   選んだ曲から再生が始まります。曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が停止します。

ヒント

- （Search）を実行しても、再生方法（☞28ページ）は変更されません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

曲の発売年から探す（Release Year）

1. **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **シャトルスイッチを回して 🔍（Search）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

3. **シャトルスイッチを回して「Release Year>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   曲の発売年の一覧が表示されます。

4. **シャトルスイッチを回して聞きたい発売年を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   選んだ発売年のアーティスト一覧が表示されます。

5. **シャトルスイッチを回して聞きたいアーティストを選び、►■ボタンを押して決定する。**
   選んだ発売年のアーティストの曲一覧が表示されます。

6. **シャトルスイッチを回して再生を開始したい曲を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   選んだ曲から再生が始まります。曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が停止します。

ヒント

- 🔍（Search）を実行しても、再生方法（☞28ページ）は変更されません。

目次
メニュー
索引

ジャケット写真から聞きたいアルバムを探す（Jacket Search）

SonicStageでアルバムのジャケット写真を登録して曲を転送すると、アルバムのジャケット写真から聞きたい曲を探すことができます。

ご注意

- (Jacket Search）で曲を探した場合、曲の並び順は必ずアルバム名順になります。
- アルバムにジャケット写真が登録されていない場合は、本機内の決まった画像が表示されます。

1 ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。

2 シャトルスイッチを回して (Jacket Search）を選び、►■ボタンを押して決定する。

登録されているジャケット一覧が表示されます。このときに、選択されているアルバムの最初の曲の試聴再生が始まります。
シャトルスイッチを通常モードで回すとジャケット写真を1枚ずつ、フォルダー操作モードで回すとジャケット写真を3枚ずつ送ったり、戻したりできます。

3 シャトルスイッチを回して聞きたいアルバムを選び、►■ボタンを押して決定する。

選んだアルバムのはじめの曲から再生が始まります。曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が停止します。

ヒント

- (Jacket Search）を実行しても、再生方法（☞28ページ）は変更されません。

目次
メニュー
索引

再生方法を変える（PLAY MODE）

曲を順不同に聞いたり、選んだ再生方法で繰り返し再生できます。

PLAY MODE/SOUNDボタン

1 **PLAY MODE/SOUNDボタンを繰り返し押し、設定したいプレイモードを選択する。**

プレイモード一覧

モードの種類 / アイコン	説明
Normal/表示なし	再生中の曲以降の本機に転送したすべての曲を1回再生し、停止します。（お買い上げ時の設定）
Folder（フォルダー）/	曲の並び順（☞ 43ページ）で設定したグループで、再生中の曲が含まれるグループの本機に転送したすべての曲を1回再生し、停止します。
Repeat All（全曲リピート）/	再生中の曲を再生したあと、本機に転送したすべての曲を繰り返し再生します。
Repeat Folder（フォルダーリピート）/	曲の並び順（☞ 43ページ）で設定したグループで、再生中の曲が含まれるグループの本機に転送したすべての曲を繰り返し再生します。
Repeat 1 Song（1曲リピート）/ 1	再生中の曲を繰り返し再生します。
Repeat Shuffle All（全曲シャッフルリピート）/ SHUF	再生中の曲を再生したあと、本機に転送したすべての曲を順不同に繰り返し再生します。
Repeat Shuffle Folder（フォルダーシャッフルリピート）/ SHUF	再生中の曲を再生したあと、曲の並び順（☞ 43ページ）で設定したグループで、再生中の曲が含まれるグループの本機に転送したすべての曲を、順不同に繰り返し再生します。

目次
メニュー
索引

周囲のノイズを低減させる（Noise Canceling）（NW-S703F/S705F/S706Fのみ）

ヘッドホンに内蔵したマイクが周囲からのノイズを拾い、ノイズに対して逆位相の音を出力することでノイズを低減します。

ご注意

- 次の場合、ノイズキャンセリング機能は働きません。
  - 付属のヘッドホン以外を使っているとき
  - 再生を停止しているとき
  - 録音中の音を確認（録音モニター）しているとき
- ノイズキャンセリング機能の設定は、本機を付属のヘッドホンと接続している場合にのみ表示されます。
- この操作は、再生/停止中とFMチューナー（NW-S703F/S705F/S706Fのみ）使用中に実行できます。

---

1. **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**

---

2. **シャトルスイッチを回して NC（Noise Canceling）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

   基本表示画面に NC が表示され、ノイズキャンセリング機能が「ON」に設定されます。

ヒント

- ノイズキャンセリング機能の効果を調整することができます。詳しくは、☞41ページをご覧ください。

設定を「OFF」にするには

基本表示画面に NC が表示されているときに、上記の手順を繰り返します。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

次のページにつづく ⇩

ご注意

- 付属のヘッドホンが正しく装着されていないと、ノイズキャンセリング機能の効果が得られませんのでイヤーピースをおさまりの良い位置に調整したり、耳の奥まで押し込むなど、ぴったりと耳に装着させるようにしてください。

- ノイズキャンセリング機能は主に低い周波数帯域のノイズを打ち消すもので、高い周波数帯域のノイズに対しては効果はありません。また、すべての音が打ち消されるわけではありません。
- ヘッドホンのマイク部を手などで覆わないでください。ノイズキャンセリング機能の効果がなくなることがあります。

- ヘッドホンの着けかたによっては、ノイズキャンセリング機能の効果が減少することがあります。
- ノイズキャンセリング機能を「ON」にすると、サーという音がしますが、ノイズキャンセリング機能の動作音で、故障ではありません。
- 静かな場所や、ノイズの種類によっては、ノイズキャンセリング機能の効果が感じられない、またはノイズが大きくなると感じる場合があります。その場合は、ノイズキャンセリング機能を「OFF」にしてください。
- 携帯電話の影響により、ノイズが入ることがあります。この場合は、携帯電話から本機を離してお使いください。

目次
メニュー
索引

音質を設定する

音楽のジャンルなどに合わせて音質を設定できます。あらかじめ2種類の音質設定を記憶させることができ、再生中または停止中にPLAY MODE/SOUNDボタンで切り換えることができます。

音質を選ぶ

お買い上げ時の設定

音質（表示）	Sound1（♪1）	Sound2（♪2）	Sound OFF（表示なし）
Clear Bass（低音）	＋1	＋3	0
Equalizer	Custom（0, 0, 0, 0, 0）	Custom（0, 0, 0, 0, 0）	Off

PLAY MODE/SOUNDボタン

ご注意

- FMチューナー（NW-S703F/S705F/S706Fのみ）の使用中は、音質を選ぶことはできません。

1 PLAY MODE/SOUNDボタンを押し続ける。

ボタンを押すごとに音質設定が以下のように変わります。

♪1 → ♪2 → 表示なし（Sound OFF）

通常の音質設定に戻すには

「表示なし（Sound OFF）」を選びます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

音質を変える（Equalizer）

Sound1またはSound2の音質を、「EQ Heavy」、「EQ Pop」、「EQ Jazz」、「EQ Unique」から選べます。また「EQ Custom」を選ぶと、お好みに調整した音質の値で音楽を楽しめます。

ご注意

- FMチューナー（NW-S703F/S705F/S706Fのみ）の使用中は、音質を変えることはできません。

1. **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**
2. **シャトルスイッチを回して（Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。**
3. **シャトルスイッチを回して「Sound>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
4. **シャトルスイッチを回して「Equalizer>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
5. **シャトルスイッチを回してSound1またはSound2の下に表示されている「└Edit>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
6. **シャトルスイッチを回してお好みのEqualizer設定（☞33ページ）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

次のページにつづく⇩

Equalizer設定一覧

設定項目	説明
EQ OFF	音質設定は働きません。（お買い上げ時の設定）
EQ Heavy	低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。
EQ Pop	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。
EQ Jazz	低域と高域を強調したメリハリのある音質になります。
EQ Unique	低域と高域を強調した、小さな音でも比較的聞き取りやすい音質になります。
EQ Custom	自分で設定した値になります。設定方法は☞ 34ページをご覧ください。

ご注意

- 設定によって、音量を大きくしたときに音が歪む場合は、音量を下げてください。
- 「EQ Custom」を選んだときと、それ以外の音質で音量が変わったように感じる場合は、音量を調節してください。

次のページにつづく ⇩

EQ Customの値を設定する

音質設定のSound1またはSound2に「EQ Custom」として、Clear Bass（4段階）と5バンドのEqualizer（7段階）の値をあらかじめ登録しておくことができます。

ご注意

- Settingsメニューから「Equalizer」で「EQ Custom」の値を設定すると、音質設定が「EQ Custom」になります。
- FMチューナー（NW-S703F/S705F/S706Fのみ）の使用中は、「EQ Custom」の値の設定はできません。

1. **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**
2. **シャトルスイッチを回して（Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。**
3. **シャトルスイッチを回して「Sound>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
4. **シャトルスイッチを回して「Equalizer>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
5. **シャトルスイッチを回してSound 1またはSound 2の下に表示されている「└Edit>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
6. **シャトルスイッチを回して「EQ Custom」の下に表示されている「└Edit>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   「Clear Bass」の値のスライダーがハイライト表示されます。
7. **シャトルスイッチを回してClear Bassの値を設定し、►■ボタンを押して決定する。**
   「Equalizer」の値のスライダーがハイライト表示されます。

次のページにつづく ⇩

❽ シャトルスイッチを回してEqualizerの値を設定し、►■ボタンを押して決定する。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

再生音に臨場感を設定する（VPT）

「VPT Studio」、「VPT Live」、「VPT Club」、「VPT Arena」から、その場所にいるような臨場感の設定を選べます。

ご注意

- FMチューナー（NW-S703F/S705F/S706Fのみ）使用中は、設定は反映されません。

1. ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。

2. シャトルスイッチを回して（Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。

3. シャトルスイッチを回して「Sound>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

4. シャトルスイッチを回して「VPT>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

5. シャトルスイッチを回してお好みのVPT設定（☞37ページ）を選び、►■ボタンを押して決定する。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

次のページにつづく⇩

VPT設定一覧

設定項目	説明
VPT OFF	VPTの設定は働きません。（お買い上げ時の設定）
VPT Studio	スタジオにいるような臨場感になります。
VPT Live	ライブ会場にいるような臨場感になります。
VPT Club	クラブにいるような臨場感になります。
VPT Arena	アリーナにいるような臨場感になります。

目次
メニュー
索引

よりステレオ感を強調した音で聞く（Clear Stereo）

ヘッドホンの左右から出る音を、デジタル処理によりくっきりと区別して再生します。

ご注意

- FMチューナー（NW-S703F/S705F/S706Fのみ）使用中は、設定は反映されません。
- クリアステレオ機能は付属のヘッドホンで効果が最適になるように設定されています。ほかのヘッドホンではクリアステレオ機能の効果が感じられないことがあります。その場合はクリアステレオ機能をOFFにしてください。

1. **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**
2. **シャトルスイッチを回して（Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。**
3. **シャトルスイッチを回して「Clear Stereo>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
4. **シャトルスイッチを回してお好みの設定を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   - Clear Stereo ON：ヘッドホンの左右から出る音を、くっきりと区別して再生します。（お買い上げ時の設定）
   - Clear Stereo OFF：クリアステレオ機能を無効にし、通常の音で再生されます。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

音量を補正する（Dynamic Normalizer）

曲どうしの音量レベルの差が少なくなるように設定できます。この設定により、録音レベルの異なる複数のアルバムの曲をシャッフル再生するときでも、曲によって音量が大きすぎたり、小さすぎたりといったことを避けることができます。

ご注意

- FMチューナー（NW-S703F/S705F/S706Fのみ）の使用中は、音量の補正はできません。

1. **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**
2. **シャトルスイッチを回して（Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。**
3. **シャトルスイッチを回して「Advanced Settings>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
4. **シャトルスイッチを回して「Dynamic Normalizer>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

⑤ シャトルスイッチを回してお好みの設定を選び、►■ボタンを押して決定する。

- D. Normalizer ON：曲どうしの音量レベルの差が少なくなります。
- D. Normalizer OFF：曲を取り込んだときの音量レベルのまま再生します。（お買い上げ時の設定）

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

ノイズキャンセリング機能の効果を調節する（Noise Cancel Control）（NW-S703F/S705F/S706Fのみ）

本機は、ノイズキャンセリング機能（☞29ページ）の効果が最も得られるように設定されていますが、耳の形状や使用環境によって、ヘッドホンに搭載されているマイクの感度を上げる（または下げる）ことで更に効果が得られる場合があります。
Noise Cancel Controlは、そのマイクの感度を調節することができます。ノイズキャンセリング機能の効果が得にくいと感じるときに調整してください。

ご注意

- 付属のヘッドホン以外では、Noise Cancel Control機能は働きません。
- Noise Cancel Controlの設定は、本機を付属のヘッドホンと接続している場合にのみ表示されます。
- この操作は、再生/停止中とFMチューナー（NW-S703F/S705F/S706Fのみ）使用中に実行できます。ただし、停止中はノイズキャンセリング機能は働きません。

1 ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。

2 シャトルスイッチを回して （Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。

3 シャトルスイッチを回して「Advanced Settings>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

❹ シャトルスイッチを回して「Noise Cancel Control>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

❺ シャトルスイッチを回してお好みの値を選び、►■ボタンを押して決定する。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

曲の並び順を変更する（Sort）

曲の並び順を「アルバム名順」、「アーティストごとのアルバム名順」、「アーティスト名順」、「ジャンル名順」、「曲の発売年順」から設定できます。

1. **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **シャトルスイッチを回して（Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

3. **シャトルスイッチを回して「Sort>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

4. **シャトルスイッチを回して曲の並び順（☞44ページ）を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   シャトルスイッチを引いてフォルダー操作モードにすると、曲の並び順がアイコンで表示されます。

曲の並び順表示

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

次のページにつづく ⇩

曲の並び順一覧

設定項目 / アイコン	説明
Sort Album（アルバム名順）/	曲がアルバム名順に並びます。同じアルバム内の曲は、曲番号順に並びます。 フォルダー操作モードでは、アルバム単位での頭出しになります。（お買い上げ時の設定）
Sort Artist/Album（アーティストごとのアルバム名順）/	曲がアーティストごとのアルバム名順に並びます。同じアルバム内の曲は、曲番号順に並びます。 フォルダー操作モードでは、アルバム単位での頭出しになります。
Sort Artist（アーティスト名順）/	曲がアーティスト名順に並びます。同じアーティストの曲は、アルバムごとの曲番号順に並びます。 フォルダー操作モードでは、アーティスト単位での頭出しになります。
Sort Genre（ジャンル名順）/	曲がジャンルごとのアーティスト名順に並びます。同じアーティストの曲は、アルバム名順に並びます。また同じアルバム内の曲は、曲番号順に並びます。 フォルダー操作モードでは、ジャンル単位での頭出しになります。
Sort Release Year（曲の発売年順）/	曲が曲の発売年ごとのアーティスト名順に並びます。同じアーティストの曲は、曲名順に並びます。 フォルダー操作モードでは、曲の発売年単位での頭出しになります。

目次
メニュー
索引

目次
メニュー
索引

表示画面を切り換える

曲の再生中または停止中に表示される画面を、お好みに応じて切り換えることができます。表示画面の切り換えは、DISPLAY/HOMEボタンで操作します。
表示画面には以下の種類があり、使用する画面をあらかじめ設定メニューで選択できます（☞47ページ）。

- Basic：基本表示（お買い上げ時の設定）
- Property：曲属性表示

  現在の再生モード、現在のグループ*番号／再生範囲の総グループ*数、現在の曲番号／再生範囲の総曲数、Clear Stereoアイコン（☞38ページ）、VPTアイコン（☞36ページ）、コーデック（曲の圧縮方式）、ビットレートが表示されます。

  * 曲の並び順（☞43ページ）で設定したグループによって変化します。

- Clock：時刻表示

  年月日、現在時刻が表示されます。日時の設定方法については、「現在時刻を設定する（Set Date-Time）」（☞54ページ）をご覧ください。
- Breath：アニメーションが表示されます。

ヒント

- 画面を常に表示させたい場合は、省電力設定（☞66ページ）を「Save OFF」に設定してください。

ご注意

- クリアステレオ機能（☞38ページ）やVPT機能（☞36ページ）を「Clear Stereo OFF」や「VPT OFF」に設定している場合、「Property」画面にアイコンは表示されません。
- FMチューナー（NW-S703F/S705F/S706Fのみ）使用中とインテリジェントシャッフル中は、DISPLAY/HOMEボタンを押すと一定時間現在時刻が表示されます。Display Screen（☞47ページ）で設定した表示画面には切り換わりません。

次のページにつづく ⇩

表示画面を切り換える

❶ 曲の再生中または停止中にDISPLAY/HOMEボタンを押す。

ボタンを押すごとに、表示画面が次のように切り換わります。

ご注意

- 上記は、Display Screen（☞47ページ）で、すべての表示画面にチェックマーク「✓」が付いている場合の表示順です。チェックマーク「✓」が付いていない画面は表示されません。お買い上げ時は、すべての表示画面にチェックマーク「✓」がついています。
- FMチューナー（NW-S703F/S705F/S706Fのみ）使用中 とインテリジェントシャッフル中は、DISPLAY/HOMEボタンを押すと一定時間現在時刻が表示されます。Display Screen（☞47ページ）で設定した表示画面には切り換わりません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

使用する画面を選択する（Display Screen）

DISPLAY/HOMEボタンを押したときに、「Property」、「Clock」、「Breath」の各画面を表示するかどうかを選択できます。
Display Screenで、チェックマーク「✓」が付いているものだけが表示されます。

1 ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。

2 シャトルスイッチを回して （Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。

3 シャトルスイッチを回して「Display Screen>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

4 シャトルスイッチを回して表示したい項目を選び、►■ボタンを押して決定する。

チェックマーク「✓」が付いている項目に対して上記の操作を行うと、チェックマーク「✓」がはずれます。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

ジャケット写真の表示/非表示を設定する（Jacket Mode）

SonicStageでアルバムのジャケット写真を登録して曲を転送すると、表示画面にアルバムのジャケット写真を表示させることができます。ジャケット写真の登録方法については、SonicStageのヘルプをご覧ください。

ご注意

- アルバムにジャケット写真が登録されていない場合は、本機内の決まった画像が表示されます。
- プレイリストに登録されたジャケット写真は、本機では表示されません。

---

1 ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。

---

2 シャトルスイッチを回して （Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。

---

3 シャトルスイッチを回して「Jacket Mode>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

---

4 シャトルスイッチを回してお好みの設定を選び、►■ボタンを押して決定する。

- Jacket Mode ON：表示画面にアルバムのジャケット写真が表示されます。（お買い上げ時の設定）
- Jacket Mode OFF：表示画面にアルバムのジャケット写真は表示されません。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

音量調節の方法を設定する（Volume Mode）

音量調節には2つのモードがあります。

Manual Volume（マニュアルボリューム）：

VOL（ボリューム）＋/－ボタンを押すごとに、0から30の間で音量を調節できます。

Preset Volume（プリセットボリューム）：

VOL（ボリューム）＋/－ボタンを押すごとに、あらかじめ設定しておいたLow、Mid、Highの3段階から音量を選択できます。

プリセットボリュームに設定する（Preset Volume）

1. ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。
2. シャトルスイッチを回して （Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。
3. シャトルスイッチを回して「Advanced Settings>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
4. シャトルスイッチを回して「Volume Mode>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
5. シャトルスイッチを回して「Preset Volume」を選び、►■ボタンを押して決定する。
   この設定により、VOL（ボリューム）＋/－ボタンを押すごとに、Low、Mid、Highから音量を選択できます。

次のページにつづく ⇩

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

ご注意

- AVLS（☞52ページ）が設定されているときは設定した値よりも音量が低くなる場合があります。AVLSを解除（AVLS OFF）すると設定した値の音量になります。

Preset Volumeの値を設定する

1. **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**
2. **シャトルスイッチを回して（Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。**
3. **シャトルスイッチを回して「Advanced Settings>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
4. **シャトルスイッチを回して「Volume Mode>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
5. **シャトルスイッチを回して「Preset Volume」の下に表示されている「└Edit>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   「Low」の値が反転して表示されます。
6. **シャトルスイッチを回してLow、Mid、Highの各値を設定し、►■ボタンを押して決定する。**
   この設定により、VOL（ボリューム）＋/－ボタンを押すごとに、設定した値のLow、Mid、Highから音量を選択できます。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

ご注意

- AVLS（☞52ページ）が設定されているときは設定した値よりも音量が低くなる場合があります。AVLSを解除（AVLS OFF）すると設定した値の音量になります。

次のページにつづく ⇩

マニュアルボリュームに設定する（Manual Volume）

1. ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。
2. シャトルスイッチを回して （Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。
3. シャトルスイッチを回して「Advanced Settings>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
4. シャトルスイッチを回して「Volume Mode>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
5. シャトルスイッチを回して「Manual Volume」を選び、►■ボタンを押して決定する。
   この設定により、VOL（ボリューム）＋/－ボタンを押すごとに、0から30の間で音量を調節できます。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

音もれを抑える（音量リミット-AVLS）

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。
お買い上げ時は、「AVLS OFF」に設定されています。

1. **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **シャトルスイッチを回して（Settings）を選び、▶■ボタンを押して決定する。**

3. **シャトルスイッチを回して「Advanced Settings>」を選び、▶■ボタンを押して決定する。**

4. **シャトルスイッチを回して「AVLS>」を選び、▶■ボタンを押して決定する。**

5. **シャトルスイッチを回して「AVLS ON」を選び、▶■ボタンを押して決定する。**
   この設定により、音量が一定のレベル以上、上がらなくなります。

設定を「OFF」にするには

手順5で「AVLS OFF」を選び、▶■ボタンを押します。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

ヒント

- AVLSが「AVLS ON」に設定されているときは、VOL（ボリューム）＋/－を押したときに「AVLS」と表示されます。

目次
メニュー
索引

ピッという確認音を鳴らさないようにする（Beep）

本体の確認音を消すことができます。
お買い上げ時は、「Beep ON」に設定されています。

1. ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。
2. シャトルスイッチを回して（Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。
3. シャトルスイッチを回して「Advanced Settings>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
4. シャトルスイッチを回して「Beep>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
5. シャトルスイッチを回して「Beep OFF」を選び、►■ボタンを押して決定する。

確認音が鳴るようにするには

手順5で「Beep ON」を選び、►■ボタンを押します。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

現在時刻を設定する（Set Date-Time）

現在の日時を設定し、時計を表示させせることができます。

現在時刻の設定には2つのモードがあります。

Date-Time Automatic：

パソコンで設定されている時刻と本機の時刻を、自動的に合わせせることができます。

Date-Time Manual：

本機の時刻を手動で設定します。

現在時刻の設定方法を選ぶ

1. ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。
2. シャトルスイッチを回して（Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。
3. シャトルスイッチを回して「Advanced Settings>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
4. シャトルスイッチを回して「Date-Time>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
5. シャトルスイッチを回して「Set Date-Time>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

6 シャトルスイッチを回してお好みの設定を選び、►■ボタンを押して決定する。

- Date-Time Automatic：次回、SonicStageを起動させて、本機とパソコンを接続すると、本機の時刻がパソコンの時刻に同期して設定されます。（お買い上げ時の設定）
- Date-Time Manual：現在時刻を手動で設定します。詳しくは、「現在時刻を手動で設定する」（☞56ページ）をご覧ください。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

時計を表示させるには

曲の再生中または停止中にDISPLAY/HOMEボタンを繰り返し押して、画面表示を「Clock」に切り換えます（☞45ページ）。ただし、Display Screenメニュー（☞47ページ）で、「Clock」の画面を表示しないように設定している場合は、上記の操作で現在時刻を確認することはできません。

ヒント

- 日付の表示形式は、「年/月/日」、「日/月/年」、「月/日/年」の3種類から選べます。また、時刻の表示形式は「12時間表示」または「24時間表示」から選択できます。詳しくは「日付の表示形式を設定する（Date Disp Type）」（☞57ページ）、または「時刻の表示形式を設定する（Time Disp Type）」（☞58ページ）をご覧ください。

ご注意

- 本機を使用しないまま長期間放置すると、設定した日時がリセットされてしまいますのでご注意ください。
- 現在時刻が設定されていない場合、画面表示を「Clock」（☞45ページ）にすると、「--」が表示されます。

次のページにつづく ⇩

現在時刻を手動で設定する

現時刻を手動で設定するには、あらかじめ現在時刻の設定方法で「Date-Time Manual」を選んでおいてください（☞54ページ）。

❶ ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。

❷ シャトルスイッチを回して（Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。

❸ シャトルスイッチを回して「Advanced Settings>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

❹ シャトルスイッチを回して「Date-Time>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

❺ シャトルスイッチを回して「Set Date-Time>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

❻ シャトルスイッチを回して「Date-Time Manual>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

「年」の値が反転して表示されます。

❼ シャトルスイッチを回して「年」の数字を合わせ、►■ボタンを押して決定する。

「月」の値が反転して表示されます。

❽ 手順❼で「年」を入力したのと同様に「月」、「日」、「時」、「分」の数字を入力する。

シャトルスイッチを回して現在の日時を合わせ、►■ボタンを押して決定します。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

目次
メニュー
索引

日付の表示形式を設定する（Date Disp Type）

現在時刻（☞45ページ）に表示される日付の表示形式を、「年/月/日」、「日/月/年」、「月/日/年」の3種類から選べます。

1 ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。

2 シャトルスイッチを回して（Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。

3 シャトルスイッチを回して「Advanced Settings>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

4 シャトルスイッチを回して「Date-Time>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

5 シャトルスイッチを回して「Date Disp Type>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

6 シャトルスイッチを回してお好みの設定を選び、►■ボタンを押して決定する。

設定値は、以下の3種類から選べます。
- Date yy/mm/dd：日付が「年/月/日」の形式で表示されます。（お買い上げ時の設定）
- Date dd/mm/yy：日付が「日/月/年」の形式で表示されます。
- Date mm/dd/yy：日付が「月/日/年」の形式で表示されます。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

時刻の表示形式を設定する（Time Disp Type）

現在時刻（☞45ページ）の表示形式を「12時間表示」または「24時間表示」から選べます。

1 **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**

2 **シャトルスイッチを回して （Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

3 **シャトルスイッチを回して「Advanced Settings>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

4 **シャトルスイッチを回して「Date-Time>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

5 **シャトルスイッチを回して「Time Disp Type>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

6 **シャトルスイッチを回してお好みの設定を選び、►■ボタンを押して決定する。**

- Time 12h：現在時刻の表示形式を12時間表示にします。
- Time 24h：現在時刻の表示形式を24時間表示にします。（お買い上げ時の設定）

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

本機の情報を表示する（Information）

本機の機種名やメモリー容量、シリアルナンバー、ファームウェア、WM-PORTのバージョンを表示することができます。

1 ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。

2 シャトルスイッチを回して (Settings) を選び、►■ボタンを押して決定する。

3 シャトルスイッチを回して「Advanced Settings>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

4 シャトルスイッチを回して「Information>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

シャトルスイッチを回すごとに以下の情報が表示されます。

1： 機種名
2： メモリー容量
3： シリアルナンバー
4： ファームウェアのバージョン
5： WM-PORTのバージョン

5 画面が変わるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

お買い上げ時の設定に戻す（Reset All Settings）

Settingsメニューで設定した内容をお買い上げ時の状態に戻せます。
お買い上げ時の状態に戻しても、保存しているデータは削除されません。

ご注意

- この操作は、再生停止中にのみ実行できます。

1. **再生停止中に、ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**
2. **シャトルスイッチを回して（Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。**
3. **シャトルスイッチを回して「Advanced Settings>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
4. **シャトルスイッチを回して「Initialize>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
5. **シャトルスイッチを回して「Reset All Settings>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
6. **シャトルスイッチを回して「OK」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   お買い上げ時の状態に戻ると、「COMPLETE」と表示されます。

次のページにつづく ⇩

お買い上げ時の設定に戻すのをやめるには

手順❻で「Cancel」を選び、►■ボタンを押します。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

メモリーを初期化する（Format）

本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）することができます。

初期化すると、音楽データや本機で録音したデータ、登録したジャケット写真などもすべて消去されます。初期化する前に内容を確認し、必要なデータはSonicStageに取り込むか、パソコンのハードディスク内に保存してください。

ご注意

- この操作は、再生停止中にのみ実行できます。

1. **再生停止中に、ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**
2. **シャトルスイッチを回して（Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。**
3. **シャトルスイッチを回して「Advanced Settings>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
4. **シャトルスイッチを回して「Initialize>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
5. **シャトルスイッチを回して「Format>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

次のページにつづく ⇩

❻ シャトルスイッチを回して「OK」を選び、►■ボタンを押して決定する。

「FORMATTING...」が表示され、初期化が始まります。
初期化が終了すると「COMPLETE」と表示されます。

初期化（フォーマット）するのをやめるには

手順❻で「Cancel」を選び、►■ボタンを押します。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

ご注意

- Windowsのエクスプローラで本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）しないでください。

目次
メニュー
索引

USB接続方法を変える（USB Bus Powered）

お使いのパソコンの使用状況によっては、パソコンからの電力供給（USB Bus Power）が不充分になり、パソコンから本機への曲の転送が正常に行われないなどの現象が発生することがあります。USB接続方法（USB Bus Powered）を「Low-Power100mA」に設定すると、このような現象が改善する場合があります。

ご注意

- USB接続中は設定できません。

1. **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **シャトルスイッチを回して（Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

3. **シャトルスイッチを回して「Advanced Settings>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

4. **シャトルスイッチを回して「USB Bus Powered>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

5. **シャトルスイッチを回してお好みの設定を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   - Low-Power100mA：パソコンからの電力供給を100ｍAにします。
   - High-Power500mA：パソコンからの電力供給を500ｍAにします。（お買い上げ時の設定）

次のページにつづく

目次
メニュー
索引

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

ヒント

- 本機とノートパソコンを接続するときは、ノートパソコンを電源につなぐことをおすすめします。
- USB接続方法（USB Bus Powered）を「Low-Power100mA」に設定していると、充電時間が長くなります。

目次
メニュー
索引

省電力画面に設定する（Power Save Mode）

一定時間（約15秒）操作がないときに、省電力画面に切り換えます。

1. ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。
2. シャトルスイッチを回して（Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。
3. シャトルスイッチを回して「Advanced Settings>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
4. シャトルスイッチを回して「Power Save Mode>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
5. シャトルスイッチを回して省電力設定を選び、►■ボタンを押して決定する。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

省電力設定一覧

設定項目	説明
Save ON Normal	約15秒間操作がない場合、省電力画面に切り換わります。（お買い上げ時の設定）
Save ON Super	約15秒間操作がない場合、画面に何も表示されなくなります。電池の消耗を最も抑えることができます。
Save OFF	再生中やFM放送受信中（NW-S703F/S705F/S706Fのみ）は、アイコンや文字が常に画面に表示されます。

目次
メニュー
索引

FM放送を楽しむ

本機のFMチューナーでは、FM放送とテレビ放送*（1 ～ 3チャンネル）を聞くことができます。あらかじめ本体内蔵の充電式電池を充電し（☞87ページ）、ヘッドホンを装着してください。

* 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

ご注意

- FMチューナー使用中は、DISPLAY/HOMEボタンを押すと一定時間現在時刻が表示されます。

1 FMチューナーに切り換える

❶ **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**

❷ **シャトルスイッチを回して FM（FM）を選び、▶■ボタンを押して決定する。**

FMチューナー画面が表示されます。

FMチューナー画面*

* この画面は、お使いのものと異なる場合があります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

FMチューナーをやめてオーディオプレーヤーに戻るには

ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続け、メニュー画面から♫（All Songs）、（Playlist Select）、（Intelligent Shuffle）または（Rec Data）を選び、►■ボタンを押して曲を再生してください。
プレイリストや録音したデータがないときは♫（All Songs）を選んでください。

FM放送の音声を一時的に消すには

►■ボタンを押すとFM放送の音声が出なくなります。数秒後に再生待機状態になり、画面が非表示になります。再び►■ボタンを押すと、FM放送の音声が出るようになります。

ご注意

- 再生待機状態中にシャトルスイッチを⏮（⏭）へ回すと、前の（次の）プリセット番号または周波数が選択されますが、音声は出ません。また、VOL（ボリューム）＋/－ボタンを押した場合も音声は出ません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

2 自動で放送局を登録する（FM Auto Preset）

設定メニューから「FM Auto Preset」を実行すると、お使いの地域で受信できる放送局を自動的に探してプリセットに登録できます（最大30局まで）。はじめてFMチューナーをお使いになるときや、お使いになる地域が変わったときには、「FM Auto Preset」を実行して、受信できる放送局をプリセット登録しておくことをお勧めします。

ご注意

- FM Auto Presetを実行すると、それまで登録されていたプリセットはすべて消去されます。

1. **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**
2. **シャトルスイッチを回して（Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。**
3. **シャトルスイッチを回して「FM Auto Preset>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
4. **シャトルスイッチを回して「OK」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

   受信できる放送局が低い周波数から順番で登録されます。
   登録が終了すると「COMPLETE」と表示され、いちばん最初に登録された放送局を受信します。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

自動で放送局を登録するのをやめるには

手順❹で「Cancel」を選び、►■ボタンを押します。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

多くの不要な放送局を受信してしまうときは

普通の電波状態で受信感度が強すぎるときは、受信感度の設定（☞74ページ）を「Scan Sens Low」に設定してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

3 選局する

聞きたい放送局を選ぶ方法には、マニュアル選局とプリセット選局の2つのモードがあります。

シャトルスイッチを引くとマニュアル選局モードになり、押して通常モードの位置にすると、プリセット選局モードになります。

- **マニュアル選局モード**
  マニュアル選局モードでは、周波数で放送局を選ぶことができます。
- **プリセット選局モード**
  プリセット選局モードでは、登録されているプリセット番号で放送局を選ぶことができます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

マニュアル選局

周波数の上下に ▲ と ▼ が付いて表示されます。

こんなときは	シャトルスイッチ操作
前の周波数を選ぶ	⏮ へ短く回す
次の周波数を選ぶ	⏭ へ短く回す
受信できる前の放送局を選ぶ*	⏮ へ回し続ける
受信できる次の放送局を選ぶ*	⏭ へ回し続ける

* シャトルスイッチを⏮（⏭）へ回した状態にしておくと、前の（次の）放送局を探します。受信できる放送局を見つけると受信します。
普通の電波状態で受信感度が強すぎるときは、受信感度の設定（☞74ページ）を「Scan Sens Low」に設定してください。
再生待機状態中にシャトルスイッチを⏮（⏭）へ回すと、周波数が減少（増加）しますが、前の（次の）放送局は見つけられず、音声も出ません。

プリセット選局

プリセット番号の上下に ▲ と ▼ が付いて表示されます。

こんなときは	シャトルスイッチ操作
登録されている前のプリセット番号を選ぶ	⏮ へ短く回す
登録されている次のプリセット番号を選ぶ	⏭ へ短く回す

ご注意

- 放送局を登録していない場合は、プリセット選局することができません。「FM Auto Preset」を実行して、受信できる放送局をプリセット登録してください（☞69ページ）。

よりよく受信するには

- ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。できるだけ長く伸ばしてお使いください。

目次
メニュー
索引

お好みの放送局をプリセット登録する

「FM Auto Preset」（☞69ページ）で登録できなかった放送局を、必要に応じてプリセット登録することができます。

❶ **マニュアル選局で、登録したい周波数を選ぶ（☞71ページ）。**

❷ **►■ボタンを押し続ける。**
手順❶で選んだ周波数がプリセット登録され、周波数の左側にプリセット番号が表示されます。

ヒント

- プリセットには、最大30局（P01 ～ P30）まで登録できます。

ご注意

- プリセット番号は、常に低い周波数から順番に並べ変えられます。

登録した放送局を削除するには

❶ **削除したい周波数のプリセット番号を選ぶ。**

❷ **►■ボタンを押し続ける。**

❸ **シャトルスイッチを回して「OK」選び、►■ボタンを押して決定する。**
登録していたプリセットが削除され、ひとつ後のプリセットが表示されます。

登録した放送局を削除するのをやめるには

手順❸で「Cancel」を選び、►■ボタンを押します。

受信感度を変更する（Scan Sens）

「FM Auto Preset」（☞69ページ）や「マニュアル選局」（☞71ページ）を行うときに、受信感度が強すぎて、多くの不要な放送局を受信してしまうことがあります。このようなときは、受信感度を「Scan Sens Low」に設定してください。お買い上げ時は、「Scan Sens High」に設定されています。

❶ **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**

❷ **シャトルスイッチを回して （Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

❸ **シャトルスイッチを回して「Scan Sens>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

❹ **シャトルスイッチを回して「Scan Sens Low」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

受信感度を元に戻すには

手順❹で「Scan Sens High」を選び、►■ボタンを押します。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

モノラル/ステレオを切り換える（Mono/Auto）

FM放送を受信中に雑音が多いときは、モノラル「Mono」に設定してください。オート「Auto」に設定している場合は、受信時の状態によって自動的にステレオかモノラルに設定されます。
お買い上げ時は、「Auto」に設定されています。

❶ ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。

❷ シャトルスイッチを回して（Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。

❸ シャトルスイッチを回して「Mono/Auto>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

❹ シャトルスイッチを回して「Mono」を選び、►■ボタンを押して決定する。

設定を元に戻すには

手順❹で「Auto」を選び、►■ボタンを押します。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

録音する（Rec）

本機とオーディオ機器を、本機での録音に対応した別売りのアクセサリーを使って接続し、パソコンを介さずに本機で曲を録音することができます。本機での録音に対応した別売りアクセサリーには、クレードル（BCR-NWU3）や録音用ケーブル（WMC-NWR1）があります。

1. **本機での録音に対応した別売りのアクセサリーとオーディオ機器を接続する。**
   詳しくは、本機での録音に対応した別売りのアクセサリーの取扱説明書をご覧ください。

2. **本機を本機での録音に対応した別売りのアクセサリーに接続する。**

3. **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**

4. **シャトルスイッチを回して●（Rec）を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   録音待機状態になり、録音画面が表示されます。このとき本機のヘッドホンで録音音源の音が確認（録音モニター）できます。VOL＋/－で録音モニターボリュームの調整ができます。ボリュームの調整をしても録音レベルは変わりません。
   録音残量時間計算のため、アニメーション表示が出ます。アニメーションが表示されている間は操作できません。

次のページにつづく ⇩

5 本機の►■ボタンを押し、録音したいCDなどを再生する。

シンクロ録音が有効に設定されているときは、CDなどの音源から音を検出すると、自動的に録音が開始されます。
無音を検出すると録音を一時停止して、再度音を検出すると次の曲としての録音が再開されます。
5分間の無音を検出すると録音待機状態に戻ります。
このとき、曲名は「NNN_hhmm」（通し番号_時分）となり、フォルダー名は「NNN_mmdd」（通し番号_月日）となります。
本機の日時が未設定の場合は、「NNN_0000」（通し番号_0000）と表示されます。あらかじめ日時を設定しておくことをおすすめします（☞54ページ）。

録音を止めるには

►■ボタンを押します。

シンクロ録音が無効に設定されているときは

手順5で►■ボタンを押したときに録音が開始されます。CDなどの音源からの音は検出しません。
録音を停止したい場合は、►■ボタンを押してください。

ヒント

- シンクロ録音有効／無効を設定するには、「シンクロ録音設定を変更する」（☞80ページ）をご覧ください。
- DISPLAY/HOMEボタンを押して、録音残量時間表示に切り換えることができます。

ご注意

- 録音する1曲あたりの容量は2GBが最大です。それを超える場合は、自動的に次の曲として録音されます。
- 録音するオーディオ機器のオーディオ出力レベルによっては、適切な音質で録音できない場合があります。
  録音レベル切り換えスイッチがあるアクセサリーの場合には、録音レベル切り換えスイッチを切り換えることにより、適切な録音レベルにすることができる場合があります。
  詳しくは、本機での録音に対応した別売りのアクセサリーの取扱説明書をご覧ください。

目次
メニュー
索引

録音する曲のビットレートを設定する（Rec Mode）

録音する曲のビットレートを設定することができます。

ご注意

- 録音に関しての機能は、本機を本機での録音に対応した別売りのアクセサリーと接続している場合に表示されます。

---

1. 「録音する」（☞76ページ）の手順 4 までを行い、録音待機状態にする。
2. ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。
3. シャトルスイッチを回して （Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。
4. シャトルスイッチを回して「Rec Mode>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
5. シャトルスイッチを回してお好みのビットレート設定（☞79ページ）を選び、►■ボタンを押して決定する。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

次のページにつづく ⇩

ビットレート設定

設定項目	説明
ATRAC 256kbps	ATRAC 256 kbpsで録音できます。
ATRAC 128kbps	ATRAC 128 kbpsで録音できます。（お買い上げ時の設定）
ATRAC 64kbps	ATRAC 64 kbpsで録音できます。
PCM	リニアPCM 1411 kbpsで録音できます。

目次
メニュー
索引

シンクロ録音設定を変更する（Sync Rec）

シンクロ録音の設定を選ぶことができます。録音元で2秒以上無音*が続くと、自動的に録音が一時停止になり、再び音を検知すると、録音が開始されます。

* 無音とは本機では約4.8 mV以下の入力レベルです。

ご注意

- 録音に関しての機能は、本機を本機での録音に対応した別売りのアクセサリーと接続している場合に表示されます。

1. 「録音する」（☞76ページ）の手順4までを行い、録音待機状態にする。

2. ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。

3. シャトルスイッチを回して （Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。

4. シャトルスイッチを回して「Sync Rec>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

5. シャトルスイッチを回してお好みの設定を選び、►■ボタンを押して決定する。
   - Sync Rec ON：シンクロ録音が有効になります。（お買い上げ時の設定）
   - Sync Rec OFF：シンクロ録音が無効になります。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

録音した曲を再生する（Rec Data）

本機で録音した曲を再生します。

ご注意

- 録音した曲は、Sort（☞43ページ）、（Search）（☞22ページ）、（Jacket Search）（☞27ページ）、（Intelligent Shuffle）（☞18ページ）ができません。録音した曲をSonicStageに取り込んで本機に転送すれば、ほかの本機に転送した曲と同じように扱うことができます。詳しくはSonicStageのヘルプをご覧ください。

❶ **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**

❷ **シャトルスイッチを回して（Rec Data）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

はじめの曲から再生が始まります。選んでいるプレイモード（☞82ページ）に従って再生します。

曲の頭出しをしたいときは

曲の再生中／停止中にシャトルスイッチをI◀◀（▶▶I）へ短く回すと、再生中の曲（次の曲）を頭出しします。

曲の再生中／停止中にシャトルスイッチを引いて、I◀◀（▶▶I）へ短く回すと現在のフォルダー（次のフォルダー）の最初の曲を頭出しします。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

録音した曲の再生方法を変える（PLAY MODE）

録音した曲を順不同に聞いたり、選んだ再生方法で繰り返し再生できます。転送した曲と続けての再生はできません。

❶ **PLAY MODE/SOUNDボタンを繰り返し押し、設定したいプレイモードを選択する。**

プレイモード一覧

モードの種類 / アイコン	説明
Normal/表示なし	再生中の曲以降の録音したすべての曲を1回再生し、停止します。（お買い上げ時の設定）
Folder（フォルダー）/	再生中の曲が含まれるフォルダーのすべての曲を1回再生し、停止します。
Repeat All（全曲リピート）/	再生中の曲を再生したあと、録音したすべての曲を繰り返し再生します。
Repeat Folder（フォルダーリピート）/	再生中の曲が含まれるフォルダーのすべての曲を繰り返し再生します。
Repeat 1 Song（1曲リピート）/1	再生中の曲を繰り返し再生します。
Repeat Shuffle All（全曲シャッフルリピート）/SHUF	再生中の曲を再生したあと、録音したすべての曲を順不同に繰り返し再生します。
Repeat Shuffle Folder（フォルダーシャッフルリピート）/SHUF	再生中の曲を再生したあと、その曲が含まれるフォルダーのすべての曲を、順不同に繰り返し再生します。

目次
メニュー
索引

録音した曲を削除する

本機で録音した曲を削除します。削除できる曲は本機で録音した曲のみです。
本機で録音した曲を削除した場合、曲の復活はできません。削除する前に内容を充分に確認してください。

録音した曲を1曲だけ削除する（Delete 1 Track）

1. 削除したい曲の再生中に►■ボタンを押す。
2. ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。
3. シャトルスイッチを回して（Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。
4. シャトルスイッチを回して「Delete Rec Data>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
5. シャトルスイッチを回して「Delete 1 Track」を選び、►■ボタンを押して決定する。
   確認のために削除する曲の再生が始まります。
6. シャトルスイッチを回して「OK」を選び、►■ボタンを押して決定する。
   曲が削除されると「COMPLETE」と表示されます。

次のページにつづく ⇩

ご注意

- 「Delete 1 Track」を選んで、フォルダー内の曲を全て削除した場合、そのフォルダーは自動的に消去されます。

曲を削除するのをやめるには

手順 6 で「Cancel」を選び、►■ボタンを押します。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

次のページにつづく ⇩

録音したフォルダーを削除する（Delete Folder）

ご注意

- 削除する曲が多い場合は、削除が完了するまでに時間がかかる場合があります。

1. **削除したいフォルダーを含む曲の再生中に►■ボタンを押す。**
2. **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**
3. **シャトルスイッチを回して （Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。**
4. **シャトルスイッチを回して「Delete Rec Data>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
5. **シャトルスイッチを回して「Delete Folder」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
6. **シャトルスイッチを回して「OK」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   曲が削除されると「COMPLETE」と表示されます。

曲を削除するのをやめるには

手順6で「Cancel」を選び、►■ボタンを押します。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

次のページにつづく

目次
メニュー
索引

録音したすべての曲を削除する（Delete All Rec Data）

ご注意

- 削除する曲が多い場合は、削除が完了するまでに時間がかかる場合があります。

1. **録音した曲の再生中に►■ボタンを押す。**
2. **ホーム画面が表示されるまでDISPLAY/HOMEボタンを押し続ける。**
3. **シャトルスイッチを回して（Settings）を選び、►■ボタンを押して決定する。**
4. **シャトルスイッチを回して「Delete Rec Data>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
5. **シャトルスイッチを回して「Delete All Rec Data」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
6. **シャトルスイッチを回して「OK」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   曲が削除されると「COMPLETE」と表示されます。

曲を削除するのをやめるには

手順6で「Cancel」を選び、►■ボタンを押します。

1階層上のメニューに戻るには

DISPLAY/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

本機の充電について

本機はパソコンと接続することによって、充電されます

本機とパソコンの接続には、付属のUSBケーブルを使います。

電池残量表示が Full になったら、充電完了です（充電時間：約120分*）。

はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、なるべく電池残量表示が Full になるまで連続して充電することをおすすめします。

* USB接続方法（☞64ページ）が「High-Power500mA」に設定してあり、室温で電池残量がない状態から電池を充電したときの目安です。電池の残量や電池の状態などにより、上記の充電時間は異なる場合があります。また、充電時の温度が低い場合や音楽データを本機に転送中なども充電時間は長くなります。

電池残量の表示について

ご使用中、表示部（☞12ページ）の電池残量表示でお知らせします。電池の持続時間（連続再生時）については、☞120ページをご覧ください。

目盛りが少なくなるほど、電池残量が減っています。また「LOW BATTERY」と表示された場合は、再生できません。本機をパソコンに接続して充電を行ってください。

ご注意

- 充電は周囲の温度が5 ～ 35℃の環境で行ってください。
- 本機とパソコン間でのデータ転送中は、「DATA ACCESS」と本機の表示窓に表示されます。「DATA ACCESS」と表示されている間は、本機をパソコンから抜かないでください。転送中のデータが破壊されることがあります。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコンに接続しているときは、本機の操作はできません。

目次
メニュー
索引

電池を長持ちさせたいときは

本機の設定変更や、電源管理を適切に行うことで、電池の使用量を節約し、長時間使用できます。
ここでは、電池を長持ちさせるヒントをご紹介します。

画面表示を消す

一定時間（約15秒）操作がないときに画面表示を消す設定にすると、電池の消耗を抑えられます。
設定方法は、「省電力画面に設定する（Power Save Mode）」（☞66ページ）をご覧ください。

音楽ファイル形式やビットレートを変える

曲のフォーマットやビットレートによっても、電池の使用可能時間（連続再生時）*が変わります。
ATRAC 132kbpsは約50時間、WMA 128kbpsは約40時間再生できます（NW-S603/S605をお使いの場合、またはNW-S703F/S705F/S706Fでノイズキャンセリング機能がOFFの場合）。詳しくは電池持続時間（☞120ページ）をご覧ください。なお、使用状況によって時間は変わります。

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

再生待機状態にする

►■ボタンを押して再生またはFM放送の受信（NW-S703F/S705F/S706Fのみ）を停止すると、数秒後に自動的に画面表示が消えて再生待機状態になります。
再生待機状態では、電池の消耗はほとんどありません。

ご注意

- 電源コードを接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンのバッテリーが消耗します。電源コードを接続していないノートパソコンと本機を接続したまま長時間放置しないでください。

目次
メニュー
索引

音楽ファイル形式とビットレートとは？

音楽ファイル形式とは

インターネットや音楽CDから曲をSonicStageへ取り込み、保存するときの形式を音楽ファイル形式といいます。
音楽ファイル形式には、MP3やWMA、ATRACなどがあります。

MP3：MPEG-1 Audio Layer3の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めたオーディオ圧縮の規格です。
音声データをCDの約10分の1に圧縮できます。

WMA：Windows Media Audioの略で、Microsoft社が開発したオーディオ圧縮形式です。MP3より小さいファイルサイズで、同等の音質が楽しめます。

ATRAC：ATRAC（Adaptive Transform Acoustic Coding）は、「ATRAC3」、「ATRAC3plus」および「ATRAC Advanced Lossless」の総称です。高音質と高圧縮を両立させた「ATRAC3」では、音声データをCDの約10分の1に圧縮でき、「ATRAC3plus」では、約20分の1に圧縮できます。
「ATRAC Advanced Lossless」は、音質を全く劣化させずに録音することができる音声圧縮技術です。
従来機器との再生互換性を維持するため、ATRAC3またはATRAC3plusの音声圧縮技術と組み合せてデータを圧縮し、データサイズをCDの約30～80%*に抑えて記録することができます。

* 楽曲によって圧縮率が異なります。

AAC：Advanced Audio Codingの略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めたオーディオ圧縮の規格です。MP3より小さいファイルサイズで、同等の音質が楽しめます。
リニアPCM：デジタル圧縮しない音声記録方式です。この方式で録音すると、CDと同じ音質を楽しむことができます。

ビットレートとは

単位時間あたりにやりとりされる情報量のことで、64 kbps（bits per second）のように表します。数値が大きいほど情報量は多くなり、音質は向上しますが、変換後の音楽ファイルサイズも大きくなります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

音楽ファイルサイズと音質、ビットレートの関係

ビットレートを上げれば、転送できる曲数が少なくなりますが、高音質な音楽ファイルを本機に転送して楽しめます。
ビットレートを下げれば、転送できる曲数は多くなりますが、音質が低下します。
本機で再生できる音楽ファイル形式とビットレートについて詳しくは、☞117、118ページをご覧ください。

ご注意

- パソコンに取り込んだときのビットレートより高いビットレートで本機に転送しても、取り込んだときのビットレート以上の音質で再生できません。

曲間を空けずに再生したいときは

曲をATRAC*形式でSonicStageに取り込んで本機に転送すれば、曲間を空けずに再生できます。
コンサートやライブなど曲間を空けずに収録されたアルバムは、曲をATRAC*形式でSonicStageに取り込み本機に転送すれば、本機で最後まで途切れることなく再生できます。

ご注意

- 本機で曲間を空けずに再生するには、曲間を空けずに収録された1つのアルバム内の曲を、全曲まとめて一度に同じビットレートのATRAC*形式で取り込む必要があります。

* ATRAC Advanced Losslessは除く。

目次
メニュー
索引

曲情報はどうやって取り込まれるの？

SonicStageを使えば、CDを挿入しただけでアルバム名やアーティスト名、曲名などの曲情報を自動で取得できます。これは、CDの曲数や時間などの情報を元に、曲情報を曲情報のデータサービス：CDDB（Gracenote CD DataBase）から、インターネット経由で自動的に無償で取得しているためです。
このとき取得した曲情報は本機に転送され、さまざまな検索が可能になります。

ご注意

- CDによっては曲情報を取得できないことがあります。曲情報を取得できない場合は、SonicStageで曲情報を入力してください。曲情報の編集について詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください。

目次
メニュー
索引

音楽以外のデータを保存する

Windowsのエクスプローラを使って、パソコンのハードディスク内のデータを本機の内蔵フラッシュメモリーに転送できます。
本機をパソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラ上にリムーバブルディスクとして、本機の内蔵フラッシュメモリーが表示されます。

ご注意

- Windowsのエクスプローラを使って本機の内蔵フラッシュメモリーを操作している間、SonicStageは使わないでください。
- エクスプローラを使って、MP3などのファイルを転送しても本機では再生できません。SonicStageを使って、転送してください。
- データへのアクセス中は、USBケーブルを抜かないでください。データを転送中にUSBケーブルを抜くと、転送中のデータが壊れることがあります。
- パソコンで本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）しないでください。本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）するときは、必ず本機のFormatメニュー（☞62ページ）で行ってください。

ファームウェアをアップデートする

本機は、最新のファームウェアをインストールすることで、新しい機能の追加などを行うことができます。最新のファームウェアおよび更新の方法について詳しくは、「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページでご案内しておりますのでご確認ください。
http://www.sony.co.jp/support-pa/

1. **「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページから、アップデートプログラムをダウンロードする。**

2. **本機をパソコンに接続し、アップデートプログラムを起動する。**

3. **アップデートプログラムのメッセージに従ってアップデートを行う。**
これでファームウェアのアップデートは完了です。

目次
メニュー
索引

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前に、以下の手順に従ってください。

1 クリップなどの細い棒で、RESETボタンを押す。

RESETボタンを押しても、本機に保存しているデータや設定は消去されません。

2 「故障かな？と思ったら」の各項目で調べる。

3 SonicStageを使用しているときは、SonicStageのヘルプで調べる。

4 「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページで調べる。
http://www.sony.co.jp/support-pa/

5 手順1 ～ 4を確認しても問題が解決しないときは、お客様ご相談センター（☞125ページ）またはお買い上げ店に相談する。

本体の操作

症状	原因／処置
再生音が出ない	• 音量がゼロになっている → 音量を上げてください（☞9ページ）。 • ヘッドホンがしっかり差し込まれていない → ヘッドホンジャックにしっかり差し込んでください（☞11ページ）。 • ヘッドホンのプラグが汚れている → 乾いた布でプラグの汚れをふきとってください。 • 曲が入っていない → 「NO DATA」と表示されているときは、パソコンから音楽データを転送してください。
雑音が入る	• 静かな場所でノイズキャンセリング機能をONにしている → 静かな場所やノイズの種類によってはノイズが大きくなると感じる場合があります。ノイズキャンセリング機能をOFFにしてください（☞29ページ）。 なお、NW-S703F/S705F/S706Fに付属のヘッドホンは、屋外や電車内など騒音の多い場所でノイズキャンセリング効果を最大限に生かすために、ヘッドホンの音圧感度を大幅に高めています。そのため、ノイズキャンセリング機能をOFFにしても静かな場所では微かなホワイトノイズが聞こえる場合があります。 • 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している → 携帯電話などを本機から離して使用してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

本体の操作（つづき）

症状	原因／処置
ノイズキャンセリング機能の効果が得られない	• ヘッドホンを正しく装着していない ➔ ぴったりと耳に装着させるようにしてください（☞30ページ）。 • 停止状態になっている ➔ ノイズキャンセリング機能が動作するのは、再生中及びFM受信中です。 • 静かな場所で使用している ➔ 静かな場所や、ノイズの種類によっては、ノイズキャンセリング機能の効果が感じられない事があります。
VPT設定、クリアステレオ機能の効果が感じられない	• 別売りのクレードルなどを使用して外部スピーカーに音声を出力した場合、ヘッドホンで聞いた時よりもVPT設定やクリアステレオ機能の効果が感じられない事があります。これはヘッドホンで最適になるように設計されているためで故障ではありません。
ボタン操作に反応しない	• HOLDスイッチがHOLDの位置になっている ➔ HOLDスイッチを逆の位置にスライドしてください（☞11ページ）。 • 結露している ➔ そのまま約2、3時間おいてください。 • 電池の残量が少ない、または消耗している ➔ 充分に充電してください（☞87ページ）。 ➔ 充電しても反応しない場合は、RESETボタンを押して本機をリセットしてください（☞95ページ）。
本機が動作しない	• 電池が消耗している ➔ 充分に充電してください（☞87ページ）。 ➔ 充電しても反応しない場合は、RESETボタンを押して本機をリセットしてください（☞95ページ）。
転送した曲が見つからない	• Windowsのエクスプローラで、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）した ➔ 本機のFormatメニューで、内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください（☞62ページ）。 • 転送中、本機からUSBケーブルが抜けた ➔ 使用可能なファイルをパソコンに戻し、本機のFormatメニューで、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください（☞62ページ）。
再生音が大きくならない	• AVLSが設定されている ➔ AVLS設定を解除してください（☞52ページ）。
右チャンネルから音が出ない または右チャンネルの音が左右両方のヘッドホンから聞こえる	• ヘッドホンが正しく差し込まれていない ➔ 正しく接続されていないと再生音が正常に聞こえません。「カチッ」と音がするまで差し込んでください（☞11ページ）。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

本体の操作（つづき）

症状	原因／処置
再生していたら急に音が止まった	• 電池が消耗している ➔ 充電してください（☞87ページ）。
本機で初期化（フォーマット）できない。	• 電池の残量が少ない、または消耗している ➔ 充分に充電してください。

表示窓

症状	原因／処置
画面に「□」と表示される	• 本機で表示できない文字が使用されている ➔ 付属のSonicStageソフトウェアを使って本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。

充電

症状	原因／処置
電池の持続時間が短い	• 5℃以下の環境で使用している ➔ 電池の特性によるもので故障ではありません。 • 充電時間が足りない ➔ 本機のUSB接続方法（USB Bus Powered）が「Low-Power100mA」になっている場合は、長めに充電してください（☞87ページ）。 • 本機の設定変更や電源管理を適切に行うことで、電池の使用量を節約し長時間使用できます（☞88ページ）。 • 充電式電池の交換が必要 ➔ ソニーサービス窓口にお問い合わせください。
充電できない	• USBケーブルがきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない ➔ USBケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。 ➔ 付属のUSBケーブルを使用してください。 • 5℃～ 35℃の範囲外の環境で充電している ➔ 5℃～ 35℃の環境で充電してください

次のページにつづく ⇩

パソコンとの接続/SonicStage

症状	原因/処置
インストールできない	• 対応のOS以外のOSを使っている → パソコンの動作環境を確認してください（☞121ページ）。 • すべてのWindowsのソフトウェアを終了していない → ほかのソフトウェアが起動した状態でインストールを行うと、不具合が生じることがあります。特にウィルスチェックソフトウェアは負担が大きいため、必ず終了してください。 • ハードディスクの空き容量が足りない → ハードディスクの空き容量は200MB以上必要なため、不要なファイルなどを削除してください。 • Administrator権限またはコンピュータの管理者以外でログオンしている → Administrator権限またはコンピュータの管理者でログオンしていない場合、インストールできないことがあります。Administrator権限またはコンピュータの管理者でログオンしてください。
インストール時に画面上のバーが動いていない。または、ハードディスクのアクセスランプが数分間点灯していない	• インストール作業は正常に行われているため、そのままお待ちください。お使いのパソコンによっては、インストール終了まで30分以上かかる場合があります。
SonicStageが起動しない	• WindowsのOSをバージョンアップするなど、パソコン環境を変更すると、起動しない場合があります。「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」（http://www.sony.co.jp/support-pa/）のホームページで調べてください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

パソコンとの接続/SonicStage（つづき）

症状	原因/処置
USBケーブルでパソコンにつないでも、本機の表示窓に「USB CONNECT」と表示されない	• USBケーブルがきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない ➔ USBケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。 ➔ 付属のUSBケーブルを使ってください。 • USBハブを使用している ➔ USBハブを使用していると、表示されない場合があります。パソコンのUSBコネクタに直接接続してください。 • SonicStageの認証を行うために、時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。 • パソコン上でほかのソフトウェアが起動している ➔ しばらくしてから、USBケーブルを接続し直してください。それでも解決しない場合は、USBケーブルを抜いてからパソコンを再起動してください。 • 本機のUSB接続方法（USB Bus Powered）が「High-Power500mA」になっている ➔ USB接続方法（USB Bus Powered）を「Low-Power100mA」にしてください（☞64ページ）。 • ソフトウェアのインストールに失敗している ➔ 付属のCD-ROMに入っているインストーラーを使ってもう一度ソフトウェアをインストールしてください（☞「クイックスタートガイド」）。取り込んだ音楽データは引き継がれます。
本機がパソコンに認識されない	• USBケーブルがきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない ➔ USBケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。 • USBハブを使用している ➔ USBハブを使用していると、認識されない場合があります。パソコンのUSBコネクタに直接接続してください。

次のページにつづく ⇩

パソコンとの接続/SonicStage（つづき）

症状	原因/処置
転送できない	• USBケーブルがきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない → USBケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。 • 本機の空き容量が不足している → 聞かなくなった曲を削除して、空き容量を増やしてください。 • 本機に転送できる曲数は、65,535曲、転送できるプレイリストは、8,192です。それを超える曲数またはプレイリストは転送できません。また、1プレイリストにつき999曲を超える曲数は転送できません。 • 再生期間や再生回数などの再生制限のついた曲は、著作権者の意向により本機に転送できない場合があります。それぞれの曲に関する設定内容については、配信者にお問い合わせください。
転送できる曲数が少ない （録音できる時間が短い）	• 本機の空き容量が不足している → 聞かなくなった曲を削除して、空き容量を増やしてください。 • 本機に音楽以外のデータが入っている → 本機に音楽以外のデータが入っていると、転送できる曲数が減ります。音楽以外のデータをパソコンに移動するなどして、本機の空き容量を増やしてください。
パソコンに戻せない	• 転送したパソコンと異なるパソコンに曲を戻そうとしている → 転送したパソコンと異なるパソコンには曲を戻せません。曲を転送したパソコンへ曲を戻してください。パソコンに曲を戻せず本機の曲を削除する場合は、SonicStageで曲を選んで☒をクリックして削除してください。 • 転送元のパソコンで曲を削除した → 転送元のパソコンで曲を削除すると、曲を戻せません。
パソコン接続中の動作が安定しない	• USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用している → USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用すると、動作が安定しないことがあります。付属のUSBケーブルで直接パソコンと接続してください。

次のページにつづく

目次
メニュー
索引

FMチューナー（NW-S703F/S705F/S706Fのみ）

症状	原因 / 処置
FM放送が よく聞こえない	• 受信している周波数が適切でない ➔ 放送がもっともよく聞こえる周波数をマニュアル選局してください（☞71ページ）。
雑音が多く、音が悪い	• 電波が弱い ➔ 建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓側でお聞きください。 • ヘッドホンのコードが伸びていない ➔ ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。できるだけ長く伸ばしてお使いください。
雑音が入る	• 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している ➔ 携帯電話などを本機から離して使用してください。

録音

症状	原因 / 処置
録音中にノイズが出る	• 本機での録音に対応した別売りのアクセサリーに録音レベル切り換えスイッチがある場合、録音レベル切り換えスイッチが合っていない ➔ 接続しているオーディオ機器に合った位置にしてください。詳しくは、本機での録音に対応した別売りのアクセサリーの取扱説明書をご覧ください。
空き容量があるのに、録音可能残り時間が「0：00：00」と表示されて録音できない。	• システム上の制約で、約6MBは予備領域の容量となります。
曲のはじめの数秒が録音されない	• 録音準備状態になる前に録音を開始している ➔「REC STANDBY」が表示されるのを確認してから録音を開始してください。 • シンクロ録音を有効にしている場合、ゆっくりフェードインする曲など録音する曲によっては無音検出が働き、正確に曲のはじめを検出できない場合があります。 ➔ シンクロ録音を無効にして録音してください（☞80ページ）
最大録音可能時間に達していなくても「TRACK FULL」表示がでる	• 本機に録音できる総曲数は4000曲です。それを超える曲数は録音できません。 ➔ 不要な曲を削除してください（☞83ページ）。 ➔ 録音した曲をパソコンに取り込んでください。
曲を消しても録音できる残り時間が増えない	• システム上の制約で、短い曲を何曲か消しても録音可能残り時間が増えないことがあります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

録音（つづき）

症状	原因／処置
録音できない	• クレードルなど本機での録音に対応する別売りのアクセサリーを接続していない ➜ クレードルなど本機での録音に対応する別売りのアクセサリーを接続してください（☞76ページ）。 • 本機の空き容量が不足している ➜ 不要な曲を削除してください（☞83ページ）。 ➜ 録音した曲をパソコンに取り込んでください。 • 本機に録音できる総曲数は4000曲です。それを超える曲数は録音できません。 ➜ 不要な曲を削除してください（☞83ページ）。 ➜ 録音した曲をパソコンに取り込んでください。 • 音源と正しく接続されていない ➜ 本機での録音に対応する別売りのアクセサリーを使って正しく接続してください。 • 本機での録音に対応した接続コードを使っていない ➜ 本機での録音に対応した接続コードを使ってください。 • パソコンと接続している ➜ パソコンの接続をはずしてください。 • 録音中に電源が抜けてしまった ➜ それまでの録音したデータは消えてしまいます。はじめから録音をやり直してください。
録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間に一致しない	• システム上の制約で、何秒かの単位で録音され、曲と曲の間に何秒かの無音部分を自動的に挿入するため、短い曲をたくさん録音すると、録音部分が増えて、合計時間と合わなくなります。
録音されたけれど音量が小さい	• 音源の出力レベルが低すぎた ➜ お使いの本機での録音に対応する別売りのアクセサリーの取扱説明書をご覧になって調整してください。
録音待機状態に移行するのに時間がかかる	• ファイルが断片化している ➜ 本機で録音した曲をSonicStageに取り込んでから、本機のFormatメニューで、内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください（☞62ページ）。
録音した曲を削除できない	• 削除できない曲、またはフォルダーがパソコン上で「読み取り専用」に設定されている ➜ データをWindowsのエクスプローラーで表示させ、ファイルまたはフォルダのプロパティの「読み取り専用」のチェックをはずしてください。 • 電池の残量が少ない、または消耗している ➜ 充分に充電してください（☞87ページ）。

次のページにつづく ⇩

録音（つづき）

症状	原因／処置
録音した曲をすべて削除したのに、フォルダーが消えない	• フォルダーに録音した曲以外のファイルが入っている。 → パソコン上でデータをWindowsのエクスプローラーで表示させ、本機で録音した曲以外のファイルを削除してください。

その他

症状	原因／処置
操作時の確認音が鳴らない	• Beepの設定が「Beep OFF」になっている → メニューで「Beep」の設定を「Beep ON」にしてください（☞53ページ）。
本体が温かくなる	• 充電中に本体が一時的に温かくなることがあります。

目次
メニュー
索引

メッセージ一覧

本体表示窓にメッセージが出たら、下の表に従ってチェックしてみてください。

表示	意味	処置
ACCESS	USBケーブルを抜いたあとや、本機をリセット（☞95ページ）したあとに表示される。	エラーではありません。表示が消えるまでお待ちください。
AVLS（点滅）	AVLS設定時に、音量が規定値を超えている。	音量を下げるか、またはAVLS設定を解除してください（☞52ページ）。
CANNOT PLAY	• 本機では再生できないファイル形式である。 • 転送の途中で転送を強制中断した。	再生できない音楽データがあり、その音楽データが不必要な場合は、内蔵フラッシュメモリーから削除することができます。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞108ページ）をご覧ください。
CHARGE ERROR	パソコンからの電力供給が異常である。	使用するパソコンを変えてお試しください。
DATA ACCESS	内蔵フラッシュメモリーにアクセス中。	アクセスが終わるまでお待ちください。内蔵フラッシュメモリーにアクセスしているときに表示されます。
DRM ERROR	著作権に対して不正なファイルを検出した。	必要なデータをパソコンに戻してから、本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞108ページ）をご覧ください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示	意味	処置
EXPIRED	期限付きの音楽データを再生しようとしている。	再生できない音楽データがあり、その音楽データが不必要な場合は、内蔵フラッシュメモリーから削除することができます。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞108ページ）をご覧ください。
FILE ERROR	• データを読み込めない。 • データが異常である。	「FILE ERROR」となった曲を削除してください。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞108ページ）をご覧ください。
FOLDER FULL	録音できるフォルダー数を超えている。	本機に録音できるフォルダー数は、255個です。不要なフォルダーを削除してから（☞85ページ）、再度録音してください。
FORMAT ERROR	パソコンなどを使って、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）した。	本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞108ページ）をご覧ください。
HOLD	HOLDスイッチが「HOLD」の位置になっているため、本機の操作ができない。	本機の操作を行う場合は、HOLDスイッチを逆の位置にスライドしてください（☞11ページ）。
LOW BATTERY	電池が消耗している。	充電してください（☞87ページ）。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示	意味	処置
MEMORY ERROR	内蔵フラッシュメモリーが壊れている。	必要なデータをパソコンに戻してから、本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください。詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞108ページ）をご覧ください。それでも表示されるときは、ソニーサービス窓口にお問い合わせください。
MEMORY FULL	• 録音中にメモリー残量が無くなった。 • メモリー残量が無い状態で、録音を始めようとした。	録音可能時間は、内蔵フラッシュメモリーの空き容量によって変化します。不要な曲を削除してから（☞83ページ）、再度録音してください。 また、メッセージが表示し続けているときは、DISPLAY/HOMEボタンを押し続けて録音状態を解除してください。
NO DATA	内蔵フラッシュメモリーに音楽データが入っていない。	音楽データが入っていない場合は、付属のSonicStageソフトウェアを使って音楽データを転送してください。
NO DATABASE	音楽データの転送中に、本機とパソコンの接続が切れてしまった。	パソコンにつないでSonicStageを起動するとデータが復活することがあります。復活しない場合は、必要なデータをパソコンに戻してから、本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞108ページ）をご覧ください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示	意味	処置
NO ITEM	選択した項目の音楽データがない。	付属のSonicStageソフトウェアを使って、音楽データを転送してください。
PRESET FULL	プリセットに31局以上登録しようとした。	プリセットは最大30局まで登録できます。不要な放送局を削除してから（☞73ページ）、再度登録してください。
READ ONLY	「読み取り専用」に設定されている曲を削除しようとした。	パソコン上で曲またはフォルダーに設定されている「読み取り専用」のチェックをはずしてください。
SIMPLE MODE	• ネットジュークと本機を接続し、接続を解除した。 • SonicStageの インテリジェント機能を無効にして接続し、接続を解除した。	エラーではありません。表示が消えるまでお待ちください。
SYSTEM ERROR	ハードウェアが壊れています。	ソニーサービス窓口にお問い合わせください。
TRACK FULL	• フォルダーに255曲以上録音しようとした。 • 録音した曲が4000曲に達し、さらに録音しようとした。	1つのフォルダーに録音できる曲は255曲まで、録音できる総曲数は4000曲までです。 不要な曲を削除してから（☞83ページ）、再度録音してください。
UPDATE ERROR	ファームウェアのアップデートに失敗した。	パソコンに表示される案内に従ってやり直してください。
USB CONNECT	本機がパソコンと接続されている。	エラーではありません。SonicStageを使って曲を転送したり、戻したりできます。ただし、本機を操作することはできません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示	意味	処置
USE ORIGINAL HEADPHONE (NW-S703F/S705F/S706F のみ)	ノイズキャンセリング機能に対応するヘッドホンが接続されていないときに、以下の操作をした。 • Noise Canceling（☞29ページ） • Noise Cancel Control設定（☞41ページ）	付属のヘッドホン、またはノイズキャンセリング機能に対応するヘッドホンを接続してください。

内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには

「CANNOT PLAY」、「DRM ERROR」、「EXPIRED」、「FILE ERROR」、「FORMAT ERROR」、「MEMORY ERROR」、「NO DATABASE」が表示された時は、内蔵フラッシュメモリーの一部またはすべてのデータに異常があります。

その場合は、以下の方法で再生できないデータを削除してください。

1 本機をパソコンに接続し、SonicStageを起動させる。

2 データの異常の原因がはっきり分かっている場合は、SonicStageで削除する。

3 それでも解決しない場合は、パソコンに接続した状態で、SonicStageを使い、パソコンに戻すことの可能な曲はすべてパソコンに戻す。

4 パソコンからはずして、本機のFormatメニューの操作で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）する（☞62ページ）。

目次
メニュー
索引

SonicStageをアンインストールする

インストールした付属のソフトウェアをパソコンから削除したいときは、以下の手順に従ってください。

1. **「スタート」メニューから「コントロールパネル」[1]をクリックする。**
2. **「プログラムの追加と削除」[2]をダブルクリックする。**
3. **一覧から「SonicStage X.X」を選び、「削除」をクリックする。**
   メッセージに従ってパソコンを再起動します。
   再起動が完了すると、アンインストールは終了です。

1）Windows 2000 Professionalでは「設定」→「コントロールパネル」
2）Windows 2000 Professionalでは「アプリケーションの追加と削除」

ご注意

- SonicStage をインストールすると、「OpenMG Secure Module」もインストールされます。「OpenMG Secure Module」は、ほかのソフトウェアでも使用していることがありますので削除しないでください。

目次
メニュー
索引

使用上のご注意

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

充電について

- 充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。
- 充電式電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、電池が劣化していると思われます。ソニーサービス窓口へお問い合わせください。

本機の取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。本機の故障の原因となります。
- 以下のような場所に置かないでください。
  - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ
    変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
  - ダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内(とくに夏季)
  - ホコリの多いところ
  - ぐらついた台の上や傾いたところ
  - 振動の多いところ
  - 風呂場など、湿気の多いところ
  - 磁石、スピーカーボックス、テレビなど、磁気を帯びたものの近く
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、本機をラジオやテレビから離してください。
- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターに相談してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

- 本機をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
  - 本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。

  - 本体にヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。
- イヤーピースは長期の使用・保存により劣化する恐れがあります。

ご使用について

- 自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながら使用しないでください。特にノイズキャンセリング機能（NW-S703F/S705F/S706Fのみ）は周囲の音を遮断しますので、警告音なども聞こえにくくなります。運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。
- ストラップ（別売り）をつけてご使用する場合は、ストラップが引っかかると危険ですので、ご注意ください。
- 飛行機の離着陸時など、機内のアナウンスに従ってご使用をお控えください。

お手入れ

キャビネットの汚れは

- 柔らかい布（ 市販のめがね拭きなど）で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液をしめらせた布で拭いてください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。
- 内部に水が入らないようにご注意ください。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布で乾拭きしてください。

イヤーピースのお手入れについて

ヘッドホンからイヤーピースをはずし、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。
洗浄後は、水気をよくふいてからご使用ください。

次のページにつづく

付属のソフトウェアについて

目次
メニュー
索引

- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。
- 本機に付属のソフトウェア上で表示できる言語は、パソコンにインストールされているOSによって異なります。お使いのパソコンのOSが、表示したい言語に対応しているかどうかをご確認ください。
  – 言語によっては、このソフトウェア上で正しく表示できない場合があります。
  – ユーザー定義の文字や特殊な記号は表示されない場合があります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

試聴用楽曲について

本製品は、店頭でお客様に実際に手にとってご試聴・ご体験頂くことを目的として、あらかじめ試聴用楽曲データをプリインストールしております。楽曲を削除される場合は、SonicStage上で行って頂きますようお願いいたします。

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合、および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。
- 以下の理由により、一部の文字や記号が本機上で正しく表示されない場合があります。
  – パソコンに接続しているポータブルプレーヤーの性能。
  – パソコンに接続しているポータブルプレーヤーが正常に動作していない。
  – 曲のID3タグ情報が、ポータブルプレーヤーでサポートされていない言語や記号で書かれている。

目次
メニュー
索引

本機を廃棄するときのご注意

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、「お客様ご相談センター」にご相談ください。（「お客様ご相談センター」の連絡先は最終ページに記載されています。）

目次
メニュー
索引

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この操作ガイドをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルミュージックプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

目次
メニュー
索引

商標について

- SonicStageおよびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- OpenMG、ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plus、ATRAC Advanced Losslessおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。
- "ウォークマン"、"WALKMAN"、"WALKMAN" ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- Microsoft およびWindows、Windows NT、Windows Media は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- MacintoshはApple Computer, Inc.の商標です。
- PentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2006 Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-2006 Gracenote. This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending. Some services supplied under license from Open Globe, Inc. for U.S. Patent: #6,304,523. Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

目次
メニュー
索引

主な仕様

再生できる音楽ファイル形式

– MPEG-1 Audio Layer-3（MP3）
– Windows Media Audio（WMA）*
– Adaptive Transform Acoustic Coding（ATRAC）
– Advanced Audio Coding（AAC）*
– リニアPCM（PCM）

* 著作権保護されたWMA/AACファイルは、再生できません。

記録できる最大曲数と時間の目安

1曲4分のATRAC形式*、MP3形式およびリニアPCM形式の曲を転送・録音した場合で計算しています。ほかの再生できる音楽ファイル形式では、増減する可能性があります。

* ATRAC Advanced Losslessは除きます。ATRAC Advanced Losslessは楽曲により圧縮率が異なります。例えば、CD1枚（4分の曲が15曲入っていた場合）が約200MB～500MBになります。

	NW-S603/S703F		NW-S605/S705F	
ビットレート	曲数	時間	曲数	時間
48 kbps	685曲	約45時間40分	1350曲	約90時間00分
64 kbps	510曲	約34時間00分	1000曲	約66時間40分
66 kbps	500曲	約33時間20分	995曲	約66時間20分
96 kbps	340曲	約22時間40分	680曲	約45時間20分
128 kbps	255曲	約17時間00分	515曲	約34時間20分
132 kbps	250曲	約16時間40分	495曲	約33時間00分
160 kbps	205曲	約13時間40分	410曲	約27時間20分
192 kbps	170曲	約11時間20分	340曲	約22時間40分
256 kbps	125曲	約8時間20分	255曲	約17時間00分
320 kbps	100曲	約6時間40分	205曲	約13時間40分
352 kbps	94曲	約6時間10分	185曲	約12時間20分
1411 kbps（リニアPCM）	23曲	約1時間30分	47曲	約3時間00分

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

NW-S706F		
ビットレート	曲数	時間
48 kbps	2700曲	約180時間00分
64 kbps	2000曲	約133時間20分
66 kbps	2000曲	約133時間20分
96 kbps	1350曲	約90時間00分
128 kbps	1000曲	約66時間40分
132 kbps	1000曲	約66時間40分
160 kbps	820曲	約54時間40分
192 kbps	685曲	約45時間40分
256 kbps	515曲	約34時間20分
320 kbps	410曲	約27時間20分
352 kbps	375曲	約25時間00分
1411 kbps（リニアPCM）	94曲	約6時間10分

容量（ユーザー使用可能領域）*

NW-S603/S703F: 1 GB（約 968 MB = 1,015,726,080バイト）
NW-S605/S705F: 2 GB（約 1.89 GB = 2,035,974,144 バイト）
NW-S706F: 4 GB（約 3.79 GB＝4,075,716,608バイト）

* 本機では、メモリーの一部をデータ管理領域として使用しているため、ユーザー使用可能領域は一般的な容量表示とは異なります。

対応ビットレート

MP3：32 ～ 320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応
WMA：32 ～ 192 kbps、可変ビットレート（VBR）対応
ATRAC：48 / 64 / 66（ATRAC3）* / 96 / 105（ATRAC3）* / 128 / 132（ATRAC3）/ 160 / 192 / 256 / 320 / 352 kbps

* SonicStageでは、ATRAC3 66/105 kbpsのCD録音はできません。

ATRAC Advanced Lossless*：64 / 128 / 132（ATRAC3 base layer）/ 256 / 352 kbps

* ATRAC Advanced Losslessのビットレート表記は、ATRAC対応機器・メディアに高速転送可能なコンテンツのビットレートを意味します。

AAC：16 ～ 320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応*

* サンプリング周波数によっては、規格外および保証外の数値も含みます。

リニアPCM：1411 kbps

次のページにつづく ⇩

サンプリング周波数*

MP3：32、44.1、48 kHz
WMA：44.1 kHz
ATRAC：44.1 kHz
AAC：11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48 kHz
リニアPCM：44.1 kHz

* すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

周波数特性*

20 ～ 20,000 Hz（再生時、単信号測定）

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の規格による測定値です。

FM放送受信周波数（NW-S703F/S705F/S706Fのみ）

76.0 ～ 90.0 MHz（TV* 1 ～ 3CH）

* 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

IF(FM)

375 kHz

アンテナ

ヘッドホンコードアンテナ

インターフェース

ヘッドホン：ステレオミニ
WM-PORT(マルチ接続端子)：22ピン
Hi-Speed USB（USB 2.0 準拠）

動作温度

5 ～ 35℃

電源

- 内蔵リチウムイオン充電式電池使用
- USB電源（付属のUSBケーブルを接続して、パソコンから供給）

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

電池持続時間

省電力設定（☞66ページ）が「Save ON Super」、Equalizer（☞32ページ）、VPT（☞36ページ）、Clear Stereo（☞38ページ）、Dynamic Normalizer（☞39ページ）が「OFF」に設定してあるときの目安です。周囲の温度や使用状況により、下記の持続時間は異なる場合があります。

NW-S603/S605	
本機の状態	
ATRAC 132 kbps再生時	約50時間
ATRAC 128 kbps再生時	約45時間
ATRAC 48 kbps再生時	約48時間
ATRAC Advanced Lossless 64 kbps再生時	約35時間
MP3 128 kbps再生時	約47時間
WMA 128 kbps再生時	約40時間
AAC 128 kbps再生時	約47時間
リニアPCM 1411 kbps再生時	約42時間
録音中	約10時間

NW-S703F/S705F/S706F		
本機の状態	ノイズキャンセリング機能がONの場合	ノイズキャンセリング機能がOFFの場合
ATRAC 132 kbps再生時	約43時間	約50時間
ATRAC 128 kbps再生時	約40時間	約45時間
ATRAC 48 kbps再生時	約43時間	約48時間
ATRAC Advanced Lossless 64 kbps再生時	約32時間	約35時間
MP3 128 kbps再生時	約42時間	約47時間
WMA 128 kbps再生時	約36時間	約40時間
AAC 128 kbps再生時	約42時間	約47時間
リニアPCM 1411 kbps再生時	約38時間	約42時間
FM放送受信時	約16時間	約18時間
録音中	–	約10時間

最大外形寸法

87.2 × 27.4 × 14.9 mm
（幅／高さ／奥行き、最大突起部を含まず）

質量

約47 g（JEITA）*

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

動作環境（本機）

- パソコン
  以下のOSを標準インストールしたIBM PC/AT互換機専用です（日本語版標準インストールのみ）。
  - Windows 2000 Professional（Service Pack 3以降）
  - Windows XP Home Edition
  - Windows XP Professional
  - Windows XP Media Center Edition 2004
  - Windows XP Media Center Edition 2005

  上記以外のOSでは動作保証いたしません。
- CPU
  Pentium III 450 MHz以上
- メモリ
  128 MB以上
- ハードディスクドライブ
  200 MB以上（1.5 GB以上を推奨）の空き容量が必要です。
  Windows のバージョンによってはそれ以上使用する場合があります。また、音楽データを扱うための空き容量がさらに必要です。
- ディスプレイの設定
  画面の解像度：800 x 600 ピクセル以上（1024 x 768 ピクセル以上を推奨）
  画面の色：High Color（16 ビット）以上（256 以下では正しく動作しない場合があります）
- CD-ROM ドライブ
  WDMによるデジタル再生機能に対応しているドライブが必要です。さらに音楽CD/ATRAC CD/MP3 CDの作成を行うためには、CD-R/RW ドライブが必要です。
- サウンドボード
- USB ポート（Hi-Speed USB推奨）
- Internet Explorer 5.5以上がインストールされている必要があります。
- CDDBやインターネット音楽配信サービス（EMD）を利用する場合は、インターネットへの接続環境が必要です。

上記の環境を満たすすべてのパソコンでの動作を保障するものではありません。

以下のシステム環境での動作保証はいたしません。
- 自作パソコン
- 標準インストールされているOS からほかのOS へのアップグレード環境
- マルチブート環境
- マルチモニタ環境
- Macintosh

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

索引

次のページにつづく

目次
メニュー
索引

た行

な行

は行

ま行

ら行

A、B、C、D

次のページにつづく ⇩

E、F、G、H

I、J、K、L

M、N、O、P

Q、R、S、T

U、V、W、X、Y、Z

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ**
  (http://www.sony.co.jp/support-pa/)
  デジタルミュージックプレーヤーに関する最新サポート情報や、その他よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。
  ※本機へ曲を転送できる機器との接続に関する詳細情報につきましても上記ホームページをご確認ください。

- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ（下記電話・FAX番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは［ウォークマン］－［ウォークマンAシリーズ、Eシリーズ、Sシリーズ］です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

    ◆ セット本体に関するご質問時：
    - 型名： NW-S603/S605/S703F/S705F/S706F
    - 製造（シリアル）番号：本体裏面に記載
      ホーム画面の （Settings）–「Advanced Settings」–「Information」でも製造（シリアル）番号をご確認いただけます。
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

    ◆ 付属のソフトウェアに関連するご質問時：
    質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

ソニー株式会社
〒108-0075
東京都港区港南
1-7-1

- http://www.sony.co.jp/SonyDrive/　**お客様ご相談センター**
- ナビダイヤル 0570-00-3311（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
- 携帯電話・PHS 03-5448-3311（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
- FAX 0466-31-2595　受付時間：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00